

四万十町学校施設等長寿命化計画



「東又小学校プール（平成 29 年度改築）」

令和 3 年 3 月

四万十町

目 次

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
1-1 背景.....	1
1-2 目的.....	2
1-3 計画期間.....	3
1-4 対象施設.....	3
第2章 学校施設の目指すべき姿	5
2-1 第2次四万十町総合振興計画.....	5
2-2 四万十町教育振興基本計画.....	6
2-3 目指すべき姿.....	8
第3章 学校施設の実態	9
3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態.....	9
3-2 学校施設の老朽化状況の実態.....	15
3-3 長寿命化対象施設の考え方.....	21
第4章 学校施設整備の基本的な方針等	25
4-1 学校施設の規模・配置計画等の方針.....	25
4-2 改修等の基本的な方針.....	29
第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	33
5-1 改修等の整備水準.....	33
5-2 維持管理の項目・手法等.....	35
第6章 長寿命化の実施計画	36
6-1 改修等の優先順位付けと実施計画.....	36
6-2 長寿命化の実施計画.....	39
6-3 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果.....	43
第7章 長寿命化計画の継続的運用方針	47
7-1 情報基盤の整備と活用.....	47
7-2 推進体制等の整備.....	48
7-3 フォローアップ.....	49

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1-1 背景

国において、平成25年11月に策定された「インフラ長寿命化基本計画」を踏まえ、四万十町（以下、「本町」という。）では、平成29年3月に、公共施設を長期的な視点で、総合的・計画的に管理することを目的として「四万十町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

「インフラ長寿命化基本計画」では、個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）を策定するよう要請されており、文部科学省においても、各自治体が学校施設の長寿命化計画を策定するにあたり、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き」（平成27年4月）、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月）が示されました。

本町の学校教育系施設は、昭和40年代後半から60年代に集中的に整備されていることから、現在では老朽化が進み、近い将来一斉に更新時期を迎えるものと見込まれています。

また、総合管理計画によると、本町の学校教育系施設は、公共建築物の延床面積の32.1%を占めているため、大規模改修及び建替えに多額の費用が必要となります。

一方、文部科学省が平成27年1月27日に公表した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」によれば、学級数が少ないことによる学校運営上の課題として、クラス替えができないことや遠足などの集団活動・行事の教育効果が下がること、人間関係や相互の評価が固定化しやすいなどのデメリットが挙げられています。また、学校は地域のコミュニティの核としての性格を有することから、地域の状況や特性を十分に考慮しつつ検討する必要があります。

このような背景から、今後も続くと想定される少子高齢化に伴う児童・生徒数が減少傾向において、人数に合わせた施設規模に合わせていく必要があります。

また、学校施設は鉄筋コンクリート造に代表されるように適切に維持管理すれば長期間使用できる建物となっているため、地域コミュニティの核となる施設としての観点から他の類型分類にて老朽化が進んでいる建物の機能を集約し、複合施設としての活用が見込めます。

これらを踏まえ、平成27年4月に文部科学省から公表された「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」を基に個別施設計画を定め、適切な維持管理・長寿命化対策を推進すべく行動します。

1-2 目的

「四万十町学校施設等長寿命化計画（以下「本計画」という。）」は、上記の背景を踏まえて学校施設を総合的観点で捉え、構造躯体が健全で長寿命化が可能な施設については長寿命化することを前提に、適正な改修・維持保全に努めることで、安全・安心な教育環境の整備を目指します。

また、教育内容や教育方法の多様化に伴い、無線 LAN 整備や、少人数・習熟度別学習への対応、省エネ化、バリアフリー化など教育環境の質的向上を推進するとともに、将来かかると予想される、改修を含めた中長期的な維持管理コストの縮減と平準化を図ります。

これまで、老朽化の進んだ学校施設等は 40～50 年程度で改築を行ってきましたが、町内の多くの公共施設が更新時期を迎えており、現有する学校施設を躯体の耐用年数まで長く使い続ける長寿命化改修に取り組むことで、中長期的な財政負担の軽減を目指します。

なお、本計画は四万十町公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）に基づく学校施設の個別施設計画として位置付けるとともに、学校施設整備計画は本計画に基づき策定していくこととします。

四万十町公共施設等総合管理計画の体系

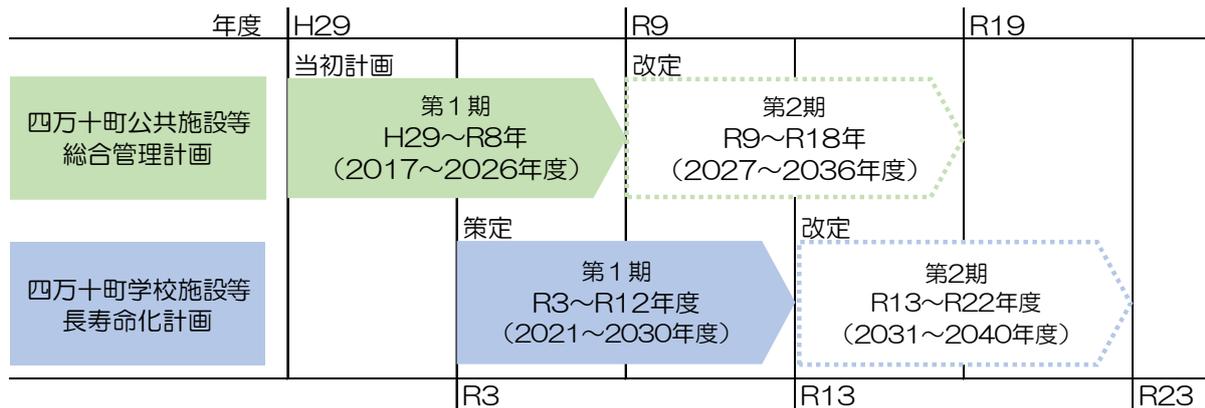


1-3 計画期間

計画期間は、本計画の上位計画と考えられる公共施設のマネジメントの基本的な方針を定めた四万十町公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）と整合を図ることとし、令和 3 年度（2021 年度）から令和 12 年度（2030 年度）までの 10 年間とします。

また、本計画は概ね 5 年ごとに見直しをするものとしませんが、社会情勢の変化や計画の進捗状況を踏まえ、計画期間中においても計画内容の見直しを行うものとしします。

計画期間



1-4 対象施設

(1) 対象施設

計画の対象施設は、本町が保有する公共建築物のうち、学校教育系施設（小学校 15 校、中学校 6 校、給食センター 3 施設）24 施設、および子育て支援施設（認定こども園 1 園）1 施設の 25 施設とします。

対象施設一覧

小学校	中学校	給食センター	認定こども園
仁井田小学校	窪川中学校	窪川給食センター	認定こども園たのの
影野小学校	興津中学校	大正給食センター	
七里小学校	大正中学校	十川給食センター	
米奥小学校	北ノ川中学校		
窪川小学校	十川中学校		
若井川小学校	昭和中学校		
口神ノ川小学校			
川口小学校			
東又小学校			
興津小学校			
田野々小学校			
大奈路小学校			
北ノ川小学校			
十川小学校			
昭和小学校			

※背景が灰色のものは休校施設

(2) 対象建築物及び一体的な建築物の考え方

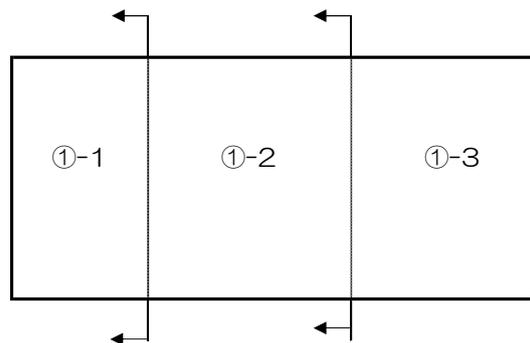
本計画の対象となる建築物（棟）は、学校施設台帳の棟別面積表と施設平面図を整理し、概ね200㎡以下の倉庫、部室、便所等の小規模な建築物（棟）を除いたものとし、教室棟にあっては、規模が200㎡以下であっても計画の対象建築物（棟）となる場合があります。

棟番号が同じ場合は、一体的な建築物（棟）として扱うこととし、棟番号が異なる場合は、建築物（棟）が隣接し、改築や改修を一体的に実施することが望ましいと考えられる場合には、一つの建築物として取り扱うようにします。

一体的に取り扱う建築物の考え方

例1：【一つの建築物において、棟番号が同じ場合】

- ・ 建築年、規模等に関わらず「一つの棟」として扱う

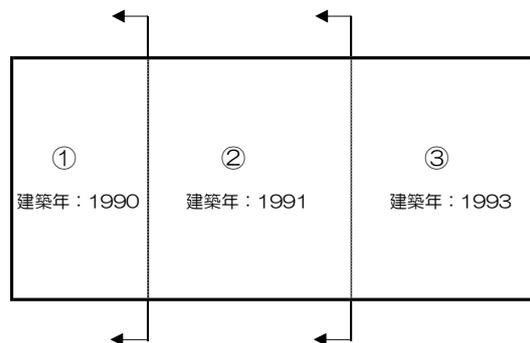


例2：【一つの建築物において、棟番号が異なる場合】

※建築年の差が5年未満の場合

- ・ 各棟の建築年の差が5年未満の場合には、「一つの棟」として扱う

注：ただし、隣接する棟の場合とする



例3：【一つの建築物において、棟番号が異なる場合】

※建築年の差が5年以上の場合

- ・ 各棟の建築年の差が5年以上離れていれば、別々の棟として扱う。ただし、②の棟の面積が200㎡未満（小規模）の場合には、①の棟と同時に解体されると考えて、「一つの棟」として扱う

注：ただし、校舎棟の場合には、200㎡未満でも分けて考える



例4：【棟番号が異なり、独立した建築物の場合】

- ・ 建築年、規模等に関わらず別々の棟として扱う



第2章 学校施設の目指すべき姿

2-1 第2次四万十町総合振興計画

基本方針2 生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり

～誰もがいつまでも健やかに暮らせるまちづくり～

【政策目標】4 まちの将来を担う人を育むまち 施策目標(8) 教育環境の充実

総合振興計画における現状と課題

総合振興計画において、本町の将来を担う子どもたちが、社会の変化に柔軟に対応し生き抜く力を培うために、基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、それらを活用し自ら考え、判断し、解決するための確かな学力、他人と協調し他人を思いやる心、感動する心などの豊かな人間性を育て、たくましく生きるための健康や体力の向上を図ることを目指しています。

基礎学力を確実に定着させる「学力向上」と「豊かな心」と「健やかな身体」の調和の取れた教育を進めることが求められ、地域の特色を生かしながら、学校・家庭・地域・行政が連携協力して教育に取り組める体制づくりを推進しています。

今後も少子化が進み、学校の統廃合がさらに必要となりますが、学校は地域の拠点的な施設として、地域住民と十分な意見交換を行いながら取り組む必要があります。子どもたちが安全に、安心して教育を受けることができるよう、引き続き安全に配慮した教育施設の改善が必要とされています。

基本方針

地域拠点として安全・安心を確保するとともに、児童生徒や教職員の一人ひとりの学びを保障する取り組みの研究・実施や連携体制の強化により、地域ぐるみで子どもの教育に取り組むまちを目指します。

基本施策

確かな学力の育成

教育内容や方法の改善等による一人ひとりの学びの質を保証する教育や、学びに向かう集団づくりの実践により、児童・生徒の学力の向上に努めます。

豊かな心と健やかな体づくり

学校教育活動を通じて、道徳的な心情や判断力、実践意欲等を養うことで豊かな心を育成するとともに、学校給食を核とした食育の推進や体力の実態把握により健やかな身体づくり、体力の向上に努めます。また、ALT（外国語指導助手）や CIR（国際交流員）等が連携し、

外国語教育や国際理解教育を推進するほか、PTA 等の地域コミュニティの協働による家庭教育支援に取り組みます。

特別支援教育の推進

学校間や関係機関との連携を図り、特別支援教育の充実を図ります。また、発達相談や就学相談などの支援体制を強化するとともに、小中学校が連携した継続的な支援を推進します。

支援を要する子ども・家庭等への支援

教育相談員等の配置により、子どもや保護者、教職員、地域の方々の教育に関する相談活動を充実するとともに、不登校児童・生徒への対応・支援について教育支援センターの効果的運用を図ります。

学校と地域の連携体制の推進

地域の実情や学校のニーズに沿って、住民や PTA でつくる学校運営協議会制度・（コミュニティ・スクール）等を活用して、児童の健全育成や教育に学校と地域が連携して地域ぐるみで取り組む体制づくりを推進します。

安全で快適な学校環境の整備

学校施設における環境の改善や長寿命化等を推進し、安全面や快適性に配慮した施設の充実を図るとともに、ICT（情報通信技術）機器など教育環境の充実を図ります。また、学校給食についても、安全・安心な給食を提供できる調理施設と調理体制の充実に努めます。

学校規模適正化の推進

学校規模の適正化を図るため、住民合意を得るための話し合いを積み重ねながら学校の適正配置に取り組みます。また、学校は地域の拠点施設であることから、廃校舎の活用について町全体の課題として検討します。

資料：第2次四万十町総合振興計画（平成29年3月）

2-2 四万十町教育振興基本計画

四万十町教育振興基本計画（令和元年7月改訂）において、本町における教育等の現状と課題を抽出し、今後の教育の全体像を明示し、目指すべき4つの基本的方向性を示し、また、基本的方向性に基づく方策として、5の成果目標と20の基本施策、今後の5年間の取組を示しています。

学校施設等の建築物の管理に関する記述として、特に、基本施策18「教育環境等の整備や児童生徒等の安全の確保」の主な取組に、「学校施設の改修及び改築」、「社会教育施設等の耐震、環境改善」、「学校及び児童福祉施設の安全確保」について記述されています。

目指すべき教育の姿を達成するための課題

- ◆義務教育段階で個々を鍛え、多様な強みを引き出す。
- ◆支援を必要とする子ども・家庭への支援。
- ◆教育格差の再生産・固定化の防止。
- ◆学校教育・生涯学習における教育環境の向上及び平準化。

4つの基本的方向性と基本施策（項目のみ抜粋）

1 社会を生き抜く力の養成

- 基本施策 1 教育内容・方法の充実
- 基本施策 2 保幼小中高の接続
- 基本施策 3 豊かな心と健やかな体
- 基本施策 4 乳幼児期の養護及び教育の充実
- 基本施策 5 ニーズに対応した教育
- 基本施策 6 現代的・社会的課題に対応した学び
- 基本施策 7 ふるさと教育、キャリア教育、地域・社会への接続支援と接続へのコーディネーターの育成
- 基本施策 8 学校経営体制強化・充実
- 基本施策 9 学びの質の保証
- 基本施策 10 学びの継続体制の構築・強化
- 基本施策 11 学ぶ機会の保証、学びの成果の発信

2 未来への飛躍を実現する人材の養成

- 基本施策 12 多様で本物に出会う学びの確保
- 基本施策 13 拠点となる施設の整備
- 基本施策 14 外国語教育、海外研修、双方向の国際交流の充実
- 基本施策 15 国際交流事業の推進

3 学びのセーフティネットの構築

- 基本施策 16 教育費負担の軽減に向けた経済的支援・学力保証
- 基本施策 17 学習や社会生活に困難を有する者への教育支援
- 基本施策 18 教育環境等の整備や児童生徒等の安全の確保

4 絆づくりと活力あるコミュニティの形成

- 基本施策 19 活力あるコミュニティ形成に向けた学習環境・協働体制整備
- 基本施策 20 豊かなつながりの中での家庭教育支援

資料：四万十町教育振興計画（令和元年7月）

2-3 目指すべき姿

◆安全性

学校施設は、子どもたちの学校生活が安全・安心に過ごせる教育環境を整備するとともに、災害時には地域住民の避難所となることから、耐震性を備えるとともに、大規模な地震による津波、四万十川本流および支流の氾濫に伴う水害、急傾斜地等のがけ崩れ等にも対応できる施設として整備していく必要があります。

さらに、施設の耐震化は休校施設を除き完了していますが、非構造部材の落下を防止するための耐震化対策にも取り組み、災害時の避難所としての機能を確保する必要があります。

また、地域に開かれた学校を推進する一方で、不審者等の対策として防犯カメラの設置や各種通報システム、地域住民の見守り等と連携した防犯対策を強化していく必要があります。

◆快適性

本町には、車いす等に対応したエレベーターの設置がない学校施設があります。また、スロープや洋式トイレ、エアコンの整備されていない特別教室や屋内運動場等も多く、将来の子どもたちが快適に過ごせる環境の整備を検討していく必要があります。

特に小中学校のトイレの洋式化については、現在は設置率が極めて低く、災害時の避難所となった際、避難者への影響も大きいことから、積極的な整備が求められています。

◆学習活動の適応性

確かな学力の定着を目指し、習熟度別学習や少人数指導等、多様な学習内容・学習形態による活動が可能となる空間、教育の情報化に対応した ICT 環境の整備が重要となっています。

また、今後の児童生徒数の減少に伴い、複式学級に集約された場合でも、空き教室を有効に活用できるような可変的な構造や、子どもの特性に配慮した施設設計など、将来を見据えた効率的で効果的な施設整備を行っていく必要があります。

◆環境への適応性

高効率な照明や暖房効率の向上、自然採光や自然エネルギーの活用など、環境負荷の低減を図ることが可能な施設整備が求められています。

◆地域の拠点化

地域に開かれた学校とするため、保護者や地域住民が訪れやすい環境とし、特に屋内運動場は学校開放事業でも地域住民の利用率が高いことから、放課後や夜間の安全な利用を考慮した施設整備を行う必要があります。

第3章 学校施設の実態

3-1 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

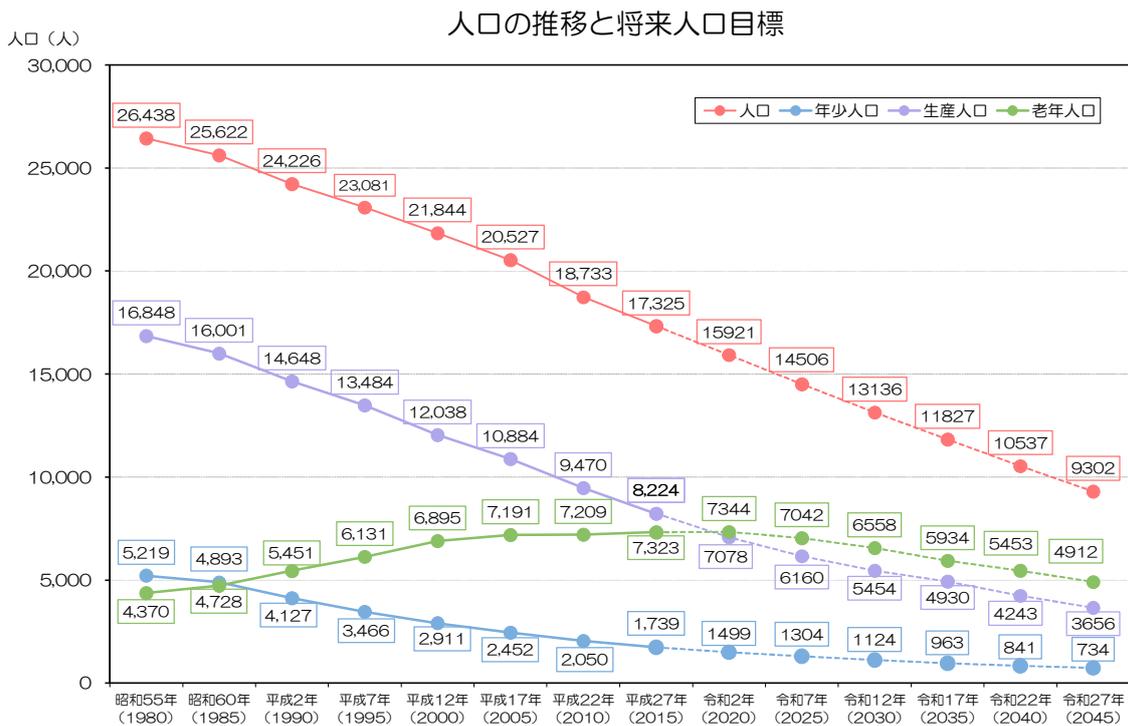
(1) 運営状況・活用状況等の実態

① 人口の推移及び将来予測

本町の総人口は年々減少を続けています。昭和55（1980）年では、26,438人でしたが、平成27（2015）年は17,325人となり、9,113人減少しています。

人口構成では、少子化・高齢化が続いています。平成27（2015）年の総人口に対する年少人口の割合は10.0%、生産年齢人口では47.5%、老年人口は42.3%となり、生産年齢人口が著しく減少しています。

平成30年3月に国立社会保障・人口問題研究所が推計した本町の将来人口によると、人口減少がさらに進行し、令和27（2045）年に9,302人と推計され、一層の少子高齢化が進むと推計されています。



将来人口の推計

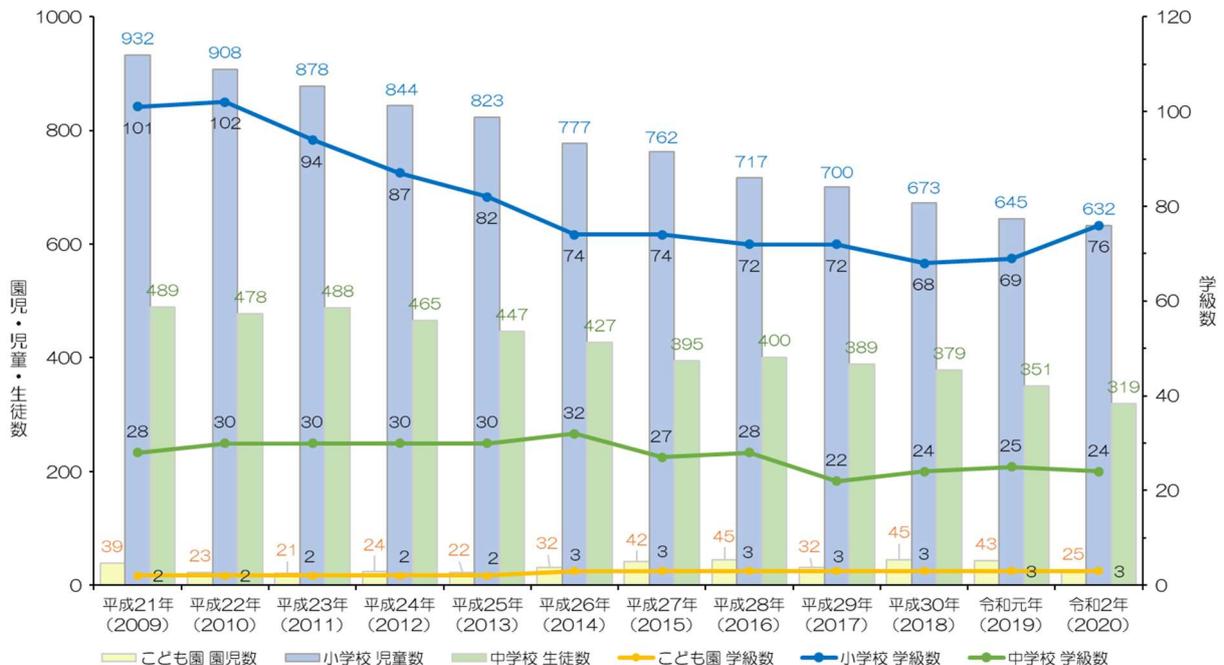
名称	区分	昭和55年 (1980)	昭和60年 (1985)	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)
実績人口	四万十町人口	26,438	25,622	24,226	23,081	21,844	20,527	18,733	17,325						
	年少人口 (0~14歳)	5,219	4,893	4,127	3,466	2,911	2,452	2,050	1,739						
	生産年齢人口 (15~64歳)	16,848	16,001	14,648	13,484	12,038	10,884	9,470	8,224						
	老年人口 (65歳以上)	4,370	4,728	5,451	6,131	6,895	7,191	7,209	7,323						
推計人口	四万十町人口【推計】									15,921	14,506	13,136	11,827	10,537	9,302
	年少人口 (0~14歳)【推計】									1,499	1,304	1,124	963	841	734
	生産年齢人口 (15~64歳)【推計】									7,078	6,160	5,454	4,930	4,243	3,656
	老年人口 (65歳以上)【推計】									7,344	7,042	6,558	5,934	5,453	4,912

※実績は、各年国勢調査による。将来人口は国立社会保障・人口問題研究所が推計したものです。

②児童・生徒数及び学級数の変化

本町の児童・生徒数は人口減少や少子高齢化の影響で、令和2(2020)年の園児数は25人、児童数は632人、生徒数は319人の合計976人となっており、平成21(2009)年度と比較して484人減少しています。

児童・生徒数および学級数の推移



※「認定ことども園たのの」は、H27(2015)年より田野々保育園から認定ことども園へ
資料：高知県学校基本調査

③学校施設等の保有量

本町には、子育て支援施設として認定ことども園1園、小学校15校(うち休校3校)、中学校6校(うち休校1校)の合計21校の学校教育系施設とその他教育施設の給食センター3施設、教員住宅等を有しています。学校教育系施設の総延床面積は63,460.1㎡となり、建築系公共施設の32.3%を占めています。

本計画対象となる、認定ことども園全体の延床面積は693.5㎡、小学校全体では36,869.6㎡、中学校全体では18,257.9㎡、給食センター全体の面積は2,303.1㎡となり、認定ことども園と学校施設の合計延床面積は、55,821.0㎡になります。給食センターを含めた総延床面積は58,124.1㎡です。

計画対象の建築物(棟)の面積の割合は、ことども園1.2%、小学校63.4%、中学校31.4%、給食センター4.0%となっています。また、管理区分から一つの棟として考えた場合の計画対象棟数は103棟です。

主な建築物(棟)が建築された年をみると、学校では昭和40年代から和50年代の建設が多く、学校施設においては多くが平成初期に整備され、学校施設等の老朽化は特に進んでいます。

これら建物の内、築30年以上の建物が学校施設等全体の72%を占めています。なお、現在までに休校施設を除き、耐震診断および耐震補強を完了しています。ただし、現在、築

50年以上の建物を有していることから、長寿命化等による対応の可能性を早急に検討する必要があると考えられます。

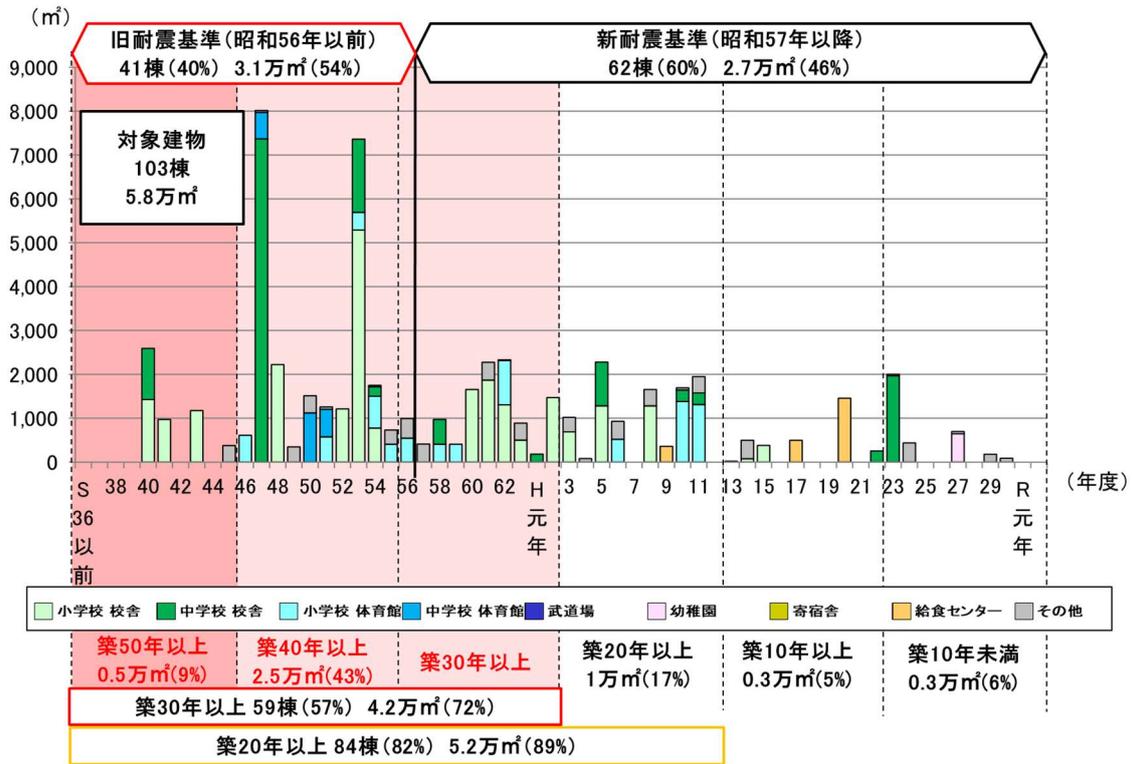
対象施設一覧

名称		所在地	総床面積 (㎡)	建築年度 (和暦)	(西暦)
こども園	認定こども園たのの	四万十町大正385-1	693.5	平成27年	2015
	こども園 計	1	693.5		
小学校	仁井田小学校	四万十町仁井田1920	2,426.9	昭和62年	1987
	影野小学校	四万十町影野653	2,562.0	平成2年	1990
	七里小学校	四万十町七里甲1214	2,053.0	平成8年	1996
	米奥小学校	四万十町米奥149	2,058.0	昭和59年	1984
	窪川小学校	四万十町琴平町7-8	4,796.2	昭和53年	1983
	若井川小学校 (休校)	四万十町若井川531	1,232.0	昭和53年	1983
	口神ノ川小学校 (休校)	四万十町口神ノ川208	1,700.0	昭和53年	1983
	川口小学校	四万十町南川口108	2,084.0	昭和52年	1982
	東又小学校	四万十町黒石502	2,438.3	昭和60年	1985
	興津小学校	四万十町興津1572	2,413.0	昭和40年	1965
	田野々小学校	四万十町大正93	3,278.2	昭和61年	1986
	大奈路小学校 (休校)	四万十町大正大奈路99	1,889.0	昭和45年	1970
	北ノ川小学校	四万十町大正北ノ川358-20	1,316.0	昭和41年	1966
	十川小学校	四万十町十和川口505-1	2,631.0	昭和43年	1968
	昭和小学校	四万十町昭和462-1	3,992.0	昭和48年	1973
小学校 計	15	36,869.6			
中学校	窪川中学校	四万十町香月が丘8-18	7,915.3	昭和47年	1972
	興津中学校 (R3.4休校予定)	四万十町興津1604	1,582.0	昭和47年	1972
	大正中学校	四万十町大正291	2,929.5	平成10年	1998
	北ノ川中学校	四万十町大正北ノ川358-20	1,637.1	昭和47年	1972
	十川中学校	四万十町十和川口484	2,361.0	昭和40年	1965
	昭和中学校 (休校)	四万十町昭和516	1,833.0	昭和53年	1978
	中学校 計	6	18,257.9		
小 計			55,821.0		
給食センター	窪川学校給食センター	四万十町香月が丘8-28	1,452.6	平成20年	2008
	大正学校給食センター	四万十町大正1311	356.5	平成9年	1997
	十和学校給食センター	四万十町昭和420-3	494.0	平成17年	2005
	給食センター 計	3	2,303.1		
合 計			58,124.1		

※建築年度は施設構成棟で最も古い建築年度を採用

なお、休校および休校予定施設については長寿命化の実施計画、ライフサイクルコスト(LCC)を算定しませんが、今後、人口の変化、財政状況、住民ニーズ、社会環境変化により、柔軟に見直すこととします。

築年別整備面積



④学校施設等の配置状況

本町全体の小学校児童数は、今後 5 年間に於いて全体では 47 人減少することが予測されます。また、中学校の生徒数は今後 5 年間で 6 人程度増加する見込みです。

将来児童数の予測

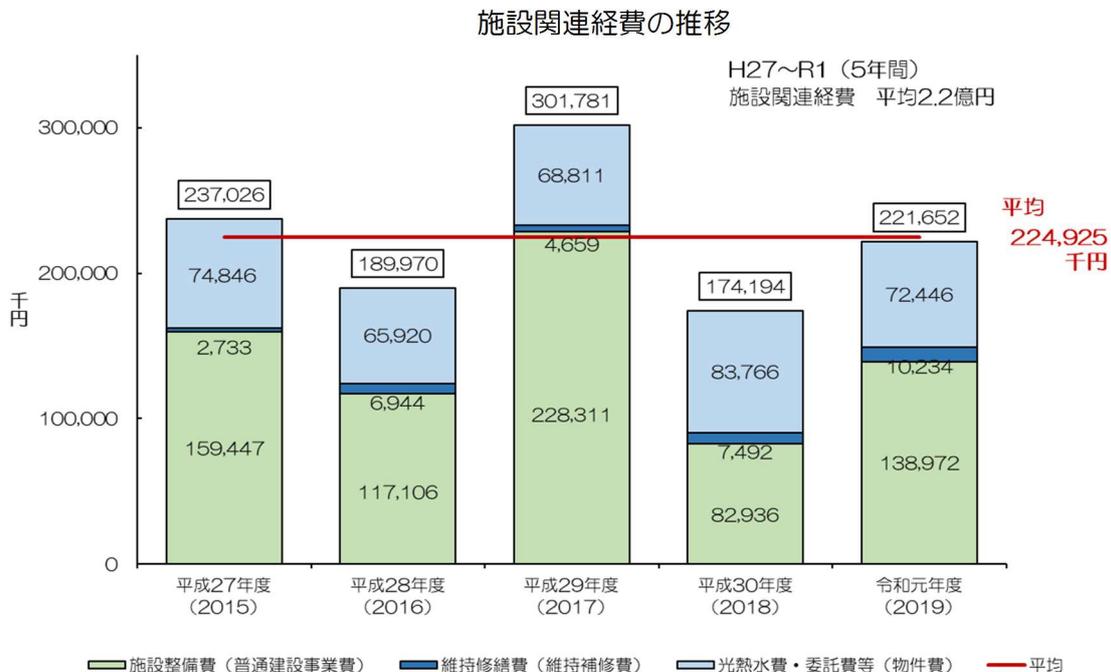
区分	年度	平成15年	平成22年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
		(2003)	(2010)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	
		5月1日現在の実数					令和元年5月1日推計値					
小学校	仁井田小学校	児童数	36	57	33	31	32	28	28	25	27	27
	影野小学校	児童数	55	52	19	18	22	22	21	23	23	24
	七里小学校	児童数	49	40	46	45	42	43	46	40	47	41
	米奥小学校	児童数	23	13	15	16	16	18	23	22	22	21
	窪川小学校	児童数	402	326	288	278	259	272	266	252	262	240
	川口小学校	児童数	33	34	30	25	27	27	25	24	24	26
	東又小学校	児童数	78	65	66	62	66	64	58	56	57	56
	興津小学校	児童数	44	33	21	21	20	19	20	18	18	10
	田野々小学校	児童数	154	134	53	50	48	45	47	46	47	43
	北ノ川小学校	児童数	63	40	23	26	20	23	25	23	24	22
十川小学校	児童数	82	78	49	42	45	45	44	43	41	44	
昭和小学校	児童数	78	36	30	31	35	36	33	33	32	31	
児童数計		1,097	908	673	645	632	642	636	605	624	585	
中学校	窪川中学校	生徒数	410	321	254	255	236	255	240	253	238	235
	興津中学校	生徒数	14	14	9	4	3	6	7	7	7	14
	大正中学校	生徒数	65	58	52	37	32	27	23	24	23	27
	北ノ川中学校	生徒数	16	24	18	16	13	12	13	13	11	13
	十川中学校	生徒数	102	61	46	39	35	38	37	36	37	36
生徒数計		607	478	379	351	319	338	320	333	316	325	

資料：第2期四万十町立小中学校適正配置計画、R2年度学校基本調査

⑤学校施設の全体コスト

平成 27 (2014) 年度から平成 30 (2018) 年度の施設関連経費（施設整備費、維持修繕費、光熱水費等）をみると、施設整備費は整備内容に応じて変動しています。

また、直近 5 年間（平成 27 (2015) 年度～令和元 (2019) 年度）の平均では、施設関連経費は、2.2 億円となっています。



施設関連経費の内訳 (単位：千円)

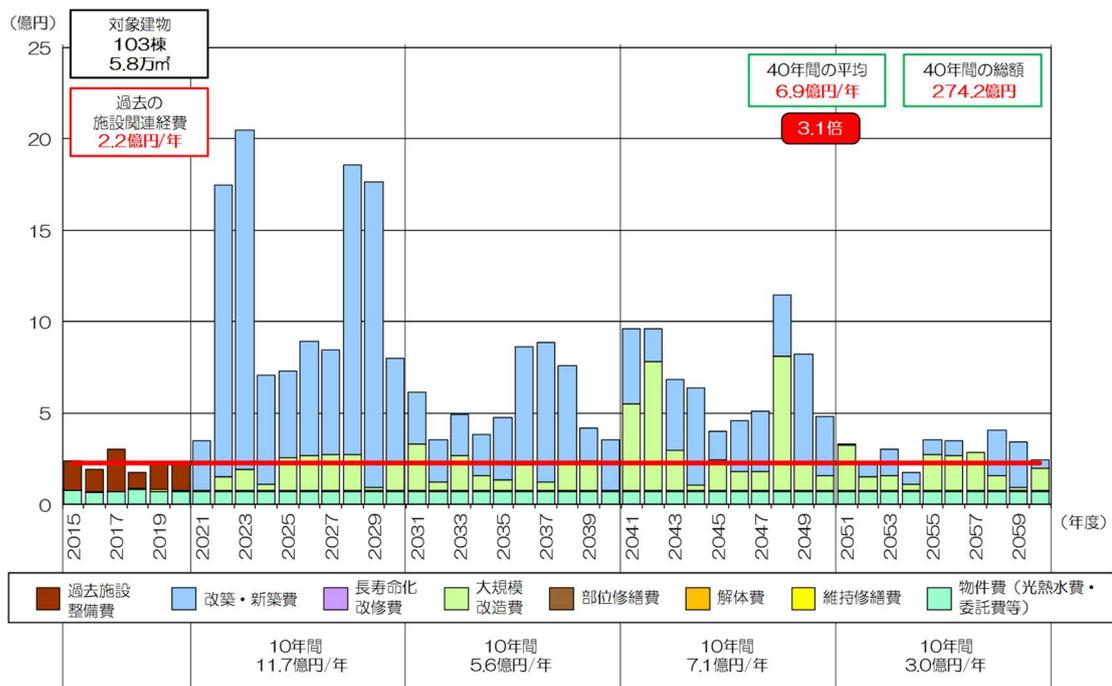
区分	項目 (単位:千円)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	H27～R1 平均
全体	施設整備費 (普通建設事業費)	159,447	117,106	228,311	82,936	138,972	145,354
	維持修繕費 (維持補修費)	2,733	6,944	4,659	7,492	10,234	6,412
	光熱水費・委託費等 (物件費)	74,846	65,920	68,811	83,766	72,446	73,158
	合計	237,026	189,970	301,781	174,194	221,652	224,925
認定こども園	施設整備費 (普通建設事業費)	0	0	0	0	0	0
	維持修繕費 (維持補修費)	56	0	36	249	0	68
	光熱水費・委託費等 (物件費)	1,166	1,022	1,193	1,223	1,220	1,165
	合計	1,222	1,022	1,229	1,472	1,220	1,233
小学校	施設整備費 (普通建設事業費)	39,081	57,111	190,903	79,404	123,961	98,092
	維持修繕費 (維持補修費)	1,712	3,721	2,285	2,995	3,654	2,873
	光熱水費・委託費等 (物件費)	28,126	27,521	28,719	29,140	31,783	29,058
	合計	68,919	88,353	221,907	111,539	159,398	130,023
中学校	施設整備費 (普通建設事業費)	120,271	59,995	33,662	3,532	15,011	46,494
	維持修繕費 (維持補修費)	0	2,188	458	587	895	826
	光熱水費・委託費等 (物件費)	24,082	17,635	17,845	31,464	18,467	21,899
	合計	144,353	79,818	51,965	35,583	34,373	69,218
給食センター	施設整備費 (普通建設事業費)	95	0	3,746	0	0	768
	維持修繕費 (維持補修費)	965	1,035	1,880	3,661	5,685	2,645
	光熱水費・委託費等 (物件費)	21,472	19,742	21,054	21,939	20,976	21,037
	合計	22,532	20,777	26,680	25,600	26,661	24,450

資料：総務省地方財政状況調査から四万十町における教育費の歳出項目を整理
 施設整備費：決算統計表示項目の「普通建設事業費」 維持修繕費：決算統計表示項目の「維持補修費」
 光熱水費：決算統計表示項目の「物件費」から施設関連経費のみ抜粋

⑥今後の維持・更新コスト（従来型）

管理区分に基づく建築物全 104 棟において、令和 3(2021)年度から令和 42(2060)年度までの 40 年間に必要な維持・更新費用を算出したところ、約 274.2 億円となります。なお、年平均では約 6.9 億円となり、直近 5 年間（平成 27 年度～令和元年度）の施設関連経費の平均値 2.2 億円の 3.1 倍になります。

維持・更新コスト（従来型）



資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月）付属プログラムを利用して、管理区分による集約棟を対象に作成

従来型の維持・更新コストの計算条件

改築 同規模建替え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 築後 50 年で同規模建替え、改築工事期間は 2 年 ・ なお、改築時期を既に経過している場合は 10 年間で実施 ・ 改築単価：330,000 円/㎡ <p>注：改築単価は、『地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書』（平成 23 年 3 月）における「学校教育系、子育て支援施設等」の更新（建替え）単価を参照</p>
大規模改造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20 年周期、工事期間は 1 年 ・ 大規模改造単価：85,200 円/㎡ <p>注：改築単価の 25%（付属プログラム仕様による固定値）</p>
施設関連経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2.2 億円/年（施設整備費、維持補修費、光熱水費・委託費） <p>注：直近 5 年間（H27～R1 年度）の平均値を使用</p>

(2) 運営状況・活用状況等の実態を踏まえた課題

計画対象棟の72%が築30年以上を経過していることから、今後、建替えに伴う更新コストに多額の費用が発生することが予想されます。

将来の児童・生徒数や利用者数の予測を踏まえ、本町の教育振興基本計画や財政状況、地域の実情等を考慮した上で、校舎や建築物が更新を迎える時期の児童・生徒数や利用者数のみならず耐用年数間の変動を勘案し、増改築、用途変更、統廃合などに柔軟に対応していくことが求められます。

校舎や体育館の基本的な機能・性能や安全性を維持していくために、計画的な改修、修繕等を実施し、適正に維持保全していく必要があります。

そのため、様々な規模・内容の工事がある中で、大規模改修と部分改修を勘案し計画的に実施していく必要があります。

建物構造により異なりますが、耐用年数(財産処分年数:鉄筋コンクリート造であれば60年)の間、学校施設として活用することを基準に考え、築30年前後に大規模改修工事を検討・計画して実施します。また耐用年数が残存10年未満のものより建替え・更新等を検討します。

老朽化が進んだ施設は、施設コストが増えることが予想されますが、予防保全を実施することでトータルコストの縮減を図ります。また、水道光熱費が割高の施設については、運用や設備における省エネ策を検討します。各施設に共通する業務委託における仕様の標準化や委託の包括化などの方法を検討し、コストダウンを図ります。

3-2 学校施設の老朽化状況の実態

(1) 点検方法等

「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書 平成29年3月文部科学省」(以下、「解説書」という。)において、劣化部位の修繕コストや改修等の優先順位付けを今後の維持・更新コストの算出に反映させるため、調査対象建物ごとに躯体以外の劣化状況を把握することにしています。このため、今回、調査対象建物について、解説書に示されている「躯体以外の劣化状況の把握」に従い調査しました。

解説書に示された「劣化状況調査票」を用いて、建物の「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上」について目視調査を行い、「A～D」の4段階で評価します。

「電気設備」「機械設備」は部位の全面的な改修年度からの経年数を基本に「A～D」の4段階で評価します。なお、設備の全面的な改修年度が不明、又は、未改修の場合は、建築年度からの経年数で評価することにします。

劣化状況調査票

劣化状況調査票

施設コード						調査日		
施設名						記入者		
棟番号						延床面積	㎡	
構造種別	階数	地上	階	地下	階	建築年度	年度	
建物番号						備考		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	劣化状況 (複数回答可)		特記事項	評価
			箇所数		
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水	<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある ※2			
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水	<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある ※2			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水	<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)	<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)	<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()	<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレンを目視点検できない ※3			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ ※1	<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある ※2			
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り	<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある ※2			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル	<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)	<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()	<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> シーリング材	<input type="checkbox"/> 界面剥離、弾力低下がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ	<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ	<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス	<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
		<input type="checkbox"/> その他点検等で指摘がある			
3 内部仕上げ	<input type="checkbox"/> 天井	<input type="checkbox"/> 剥がれ、亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> 壁	<input type="checkbox"/> 懸垂物・付属物等			
	<input type="checkbox"/> 床	<input type="checkbox"/> その他点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 受変電設備		修繕履歴の結果から記載する。	
	<input type="checkbox"/> 空調設備			
	<input type="checkbox"/> 昇降機設備			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(評価結果に関して、現地点検調査において判明した指摘事項のうち、主な該当部位と指摘内容を記載)

上記、「その他点検等で指摘がある」において、チェックを入れた場合には、それらの事象について、特記事項で記述する。
また、基本的には電気設備、機械設備は調査の対象外であるが、内部仕上げの確認時等において、電気設備、機械設備の異常が確認された場合には、異常内容を特記事項で記述する。

健全度
0 / 100点

- ・※1の「塗仕上げ」には、吹付け、ローラー、コテ塗りなどとする。
- ・※2の箇所については、数字で箇所数を記載する。それ以外は、「部分」、「多数」などの表記とする。
- ・評価は、A～Dの最も悪い評価を記載する。
例：屋上・屋根における「防水層に膨れ・破れ等がある」の評価がBでも、「天井等に雨漏り痕がある」の評価がDであれば、屋上・屋根の評価はDとする。
- ・※3において、異常があった場合には、評価の対象とはしないが、上欄の「特記事項」において、コメントを記載する。
例：ルーフトレインが破損している。縦樋が外れているなど。

(2) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

① 目視による評価基準（屋根・屋上、外壁、内部仕上）

建物の「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上」については、次のとおり、「A～D」の4段階で評価します。

屋根・屋上、外壁、内部仕上における評価（目視による）

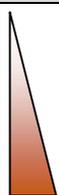
評価	基準	評価点	状況
A	おおむね良好	100点	 良好 劣化
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	75点	
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）	40点	
D	早急に対応する必要がある	10点	

資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月 文部科学省）

② 設備における評価基準（経過年数）

「電気設備」「機械設備」については、点検（目視）による判断が困難であることから、経過年数を基に評価します。なお、修繕、改修等の年次が不明の場合は、建築年からの経過年数としています。（中間報告では建築年度からの経過年数で評価）

電気設備、機械設備における評価（経過年数による）

評価	基準	評価点	状況
A	経過年数が20年未満	100点	 良好 劣化
B	経過年数が20年以上40年未満	75点	
C	経過年数が40年以上	40点	
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合	10点	

資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月 文部科学省）

③ 健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上」「電気設備」「機械設備」について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。

「部位の評価点」と「部位のコスト配分」を下表のように定め、「健全度」を100点満点で算定します。

なお、「部位のコスト配分」は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に案分して設定しています（コスト配分の説明は解説書による）。

部位の評価点

評価	評価点
A	100点
B	75点
C	40点
D	10点

部位のコスト配分係数

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
合計値	60.0

健全度の計算例

部位	評価	評価点		コスト配分	点数
1 屋根・屋上	C	40点	×	5.1	204点
2 外壁	D	10点	×	17.2	172点
3 内部仕上げ	B	75点	×	22.4	1680点
4 電気設備	A	100点	×	8.0	800点
5 機械設備	C	40点	×	7.3	292点
計					3148点
健全度	※ Σ (部位の評価点×部位のコスト配分) ÷60				52点

資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月 文部科学省）
 ※100 点満点にするためにコスト配分の合計値（60 点）で割っている。
 健全度は数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

④ 評価結果

調査対象建物について部位別の劣化状況評価は以下のとおりです。

建物劣化状況評価

大分類	施設番号	施設名称		建築年度	経過年数	構造記号	延床面積 m ²	屋根・屋上 評価点	外壁 評価点	内部仕上げ 評価点	電気設備 評価点	機械設備 評価点	健全度
子育て支援施設	1	認定こども園たのの	園舎	2015	5	W	644	A	A	A	A	A	100
子育て支援施設	1	認定こども園たのの	プール	2015	5	RC	50	A	A	A	A	A	100
学校教育系施設	2	仁井田小学校	校舎（管理教室棟）	1987	33	RC	909	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	2	仁井田小学校	校舎（特別教室棟）	1988	32	RC	499	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	2	仁井田小学校	屋内運動場	1999	21	RC	650	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	2	仁井田小学校	プール	1980	40	RC	325	B	B	-	-	B	75
学校教育系施設	2	仁井田小学校	プール付属室	1981	39	S	44	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	3	影野小学校	校舎（管理教室棟）	1990	30	W	1,469	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	3	影野小学校	屋内運動場	1999	21	RC	660	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	3	影野小学校	プール	1981	39	RC	325	B	B	-	-	B	75
学校教育系施設	3	影野小学校	プール付属室	1981	39	S	48	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	3	影野小学校	ポンプ室	1991	29	RC	6	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	3	影野小学校	倉庫（2）	1976	44	W	54	B	B	C	C	C	53
学校教育系施設	4	七里小学校	校舎管理教室棟（1・2）	1996	24	RC	1,280	A	B	B	B	B	77
学校教育系施設	4	七里小学校	屋内運動場	1978	42	S	400	C	C	C	C	C	40
学校教育系施設	4	七里小学校	プール	1994	26	RC	325	B	B	-	-	B	75
学校教育系施設	4	七里小学校	プール付属室	1994	26	S	48	C	B	B	B	B	72

大分類	施設番号	施設名称		建築年度	経過年数	構造記号	延床面積 ㎡	屋根・屋上 評価点	外壁 評価点	内部仕上 評価点	電気設備 評価点	機械設備 評価点	健全度
学校教育系施設	5	米奥小学校	校舎 管理教室棟 (1・2)	1993	27	RC	1,280	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	5	米奥小学校	屋内運動場	1984	36	S	405	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	5	米奥小学校	プール	2002	18	RC	325	B	B	-	-	A	81
学校教育系施設	5	米奥小学校	プール付属室	1998	22	S	48	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	6	窪川小学校	校舎 (普通・特別)	1978	42	RC	3,586	C	A	C	C	C	57
学校教育系施設	6	窪川小学校	校舎 (特別教室棟)	2002	18	S	73	B	B	A	A	A	91
学校教育系施設	6	窪川小学校	屋内運動場	1979	41	S	726	D	B	C	C	C	48
学校教育系施設	6	窪川小学校	プール	1970	50	RC	325	B	B	-	-	C	66
学校教育系施設	6	窪川小学校	プール付属室	1970	50	S	52	B	B	C	C	C	53
学校教育系施設	6	窪川小学校	体育倉庫	1994	26	S	34	B	A	B	B	B	82
学校教育系施設	7	若井川小学校 (休校)	校舎 (管理教室棟)、給食棟	1978	42	RC	782	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	7	若井川小学校 (休校)	屋内運動場	1980	40	S	405	A	A	B	B	A	87
学校教育系施設	7	若井川小学校 (休校)	便所棟	1978	42	RC	28	D	B	B	B	B	70
学校教育系施設	7	若井川小学校 (休校)	倉庫	1992	28	W	17	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校 (休校)	校舎 (管理教室棟)	1978	42	RC	895	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校 (休校)	屋内運動場	1983	37	S	405	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校 (休校)	プール	1999	21	RC	325	B	B	-	-	B	75
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校 (休校)	プール付属室	1999	21	RC	48	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校 (休校)	体育施設棟	1979	41	S	27	B	A	B	B	A	85
学校教育系施設	9	川口小学校	校舎 (管理教室棟) (特別教室棟)	1977	43	RC	1,212	A	B	B	B	B	77
学校教育系施設	9	川口小学校	屋内運動場	1979	41	S	448	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	9	川口小学校	プール	1996	24	RC	325	B	B	-	-	B	75
学校教育系施設	9	川口小学校	プール付属室	1996	24	RC	49	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	9	川口小学校	倉庫	2001	19	S	18	C	B	B	B	B	72
学校教育系施設	9	川口小学校	体育倉庫	2002	18	W	32	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	10	東又小学校	校舎	1985	35	RC	1,655	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	10	東又小学校	屋内運動場	1994	26	S	520	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	10	東又小学校	プール	2017	3	RC	178	A	A	-	-	A	100
学校教育系施設	10	東又小学校	プール付属室	2018	2	W	85	A	A	A	A	A	100
学校教育系施設	11	興津小学校	校舎 (管理教室棟) (特別教室棟) 便所棟	1965	55	RC	1,423	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	11	興津小学校	屋内運動場	1981	39	S	544	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	11	興津小学校	プール	1988	32	RC	325	B	B	-	-	B	75
学校教育系施設	11	興津小学校	プール付属室	1988	32	RC	64	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	11	興津小学校	倉庫	1987	33	W	22	A	A	A	B	B	94
学校教育系施設	11	興津小学校	体育器具庫	2011	9	W	35	B	A	A	A	A	98
学校教育系施設	12	田野々小学校	校舎	1986	34	RC	1,868	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	12	田野々小学校	屋内運動場	1987	33	RC	1,004	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	12	田野々小学校	プール	1986	34	RC	325	B	B	-	-	B	75
学校教育系施設	12	田野々小学校	プール付属室	1986	34	RC	81	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	13	大奈路小学校 (休校)	校舎 (特別教室棟)	1987	33	W	397	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	13	大奈路小学校 (休校)	校舎 (管理教室棟) 保健室	1991	29	W	560	A	A	A	A	A	100
学校教育系施設	13	大奈路小学校 (休校)	屋内運動場	1971	49	S	607	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	13	大奈路小学校 (休校)	プール	1979	41	RC	325	B	B	-	-	B	75

大分類	施設番号	施設名称		建築年度	経過年数	構造記号	延床面積㎡	屋根・屋上 評価点	外壁評価点	内部仕上げ 評価点	電気設備 評価点	機械設備 評価点	健全度
学校教育系施設	14	北ノ川小学校	校舎	1966	54	RC	969	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	14	北ノ川小学校	プール	1974	46	RC	325	B	B	-	-	B	75
学校教育系施設	14	北ノ川小学校	プール付属室	1974	46	RC	22	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	15	十川小学校	校舎1	1968	52	RC	1,173	B	C	C	C	C	43
学校教育系施設	15	十川小学校	校舎2	1991	29	W	126	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	15	十川小学校	特別教室	2003	17	RC	378	B	B	A	A	A	91
学校教育系施設	15	十川小学校	屋内運動場	1976	44	S	573	B	B	C	C	C	53
学校教育系施設	15	十川小学校	プール	1991	29	RC	325	B	B	-	-	B	75
学校教育系施設	15	十川小学校	プールポンプ室等機械室	1992	28	RC	56	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	16	昭和小学校	校舎（管理教室棟）配膳室	1973	47	RC	1,036	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	16	昭和小学校	校舎（教室棟）	1973	47	RC	1,186	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	16	昭和小学校	屋内運動場	1998	22	S	1,379	A	A	B	B	B	84
学校教育系施設	16	昭和小学校	プール	1975	45	RC	325	B	B	-	-	B	75
学校教育系施設	16	昭和小学校	プール付属室	1975	45	RC	66	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	17	窪川中学校	校舎（普通教室棟）	1972	48	RC	6,025	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	17	窪川中学校	校舎（技術科室棟）	2010	10	W	251	B	A	A	A	A	98
学校教育系施設	17	窪川中学校	屋内運動場	1975	45	S	1,120	B	B	C	C	C	53
学校教育系施設	17	窪川中学校	機械室	1972	48	RC	42	B	B	C	C	C	53
学校教育系施設	17	窪川中学校	プール	1982	38	RC	325	B	C	-	-	B	55
学校教育系施設	17	窪川中学校	プール付属室	1982	38	S	86	B	C	B	B	B	65
学校教育系施設	17	窪川中学校	部室 倉庫	2002	18	S	66	B	B	A	A	A	91
学校教育系施設	18	興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（管理教室棟）	1972	48	RC	1,342	A	B	B	B	B	77
学校教育系施設	18	興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（特別教室棟）	1979	41	S	60	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	18	興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（特別教室棟）	1989	31	RC	180	A	A	B	B	B	84
学校教育系施設	19	大正中学校	校舎	2011	9	RC	1,965	B	B	A	A	A	91
学校教育系施設	19	大正中学校	校舎（技術棟）	1999	21	S	265	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	19	大正中学校	校舎（特別教室）	1998	22	S	265	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	19	大正中学校	プール	2012	8	RC	325	A	A	-	-	A	100
学校教育系施設	19	大正中学校	プール付属室A	2012	8	W	65	A	A	A	A	A	100
学校教育系施設	19	大正中学校	プール付属室B	2012	8	W	26	A	A	A	A	A	100
学校教育系施設	19	大正中学校	プール機械室	2012	8	W	18	A	A	A	A	A	100
学校教育系施設	20	北ノ川中学校	校舎	1993	27	W	999	A	B	A	A	A	93
学校教育系施設	20	北ノ川中学校	屋内運動場	1972	48	S	607	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	20	北ノ川中学校	便所棟	1981	39	S	31	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	21	十川中学校	校舎	1965	55	RC	1,168	C	C	C	C	C	40
学校教育系施設	21	十川中学校	校舎（特別教室棟）	1983	37	RC	564	B	C	B	B	B	65
学校教育系施設	21	十川中学校	屋内運動場	1976	44	S	629	B	B	C	C	C	53
学校教育系施設	22	昭和中学校（休校）	校舎（管理教室棟）	1978	42	RC	1,669	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	22	昭和中学校（休校）	校舎（技術棟）	1979	41	S	160	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	22	昭和中学校（休校）	便所棟	1992	28	W	4	B	B	B	B	B	75
学校教育系施設	23	窪川学校給食センター	共同調理場	2008	12	S	1,453	A	A	A	A	A	100
学校教育系施設	24	大正学校給食センター	共同調理場	1997	23	RC	357	C	B	B	B	B	72
学校教育系施設	25	十和学校給食センター	共同調理場	2005	15	S	494	A	A	A	A	A	100

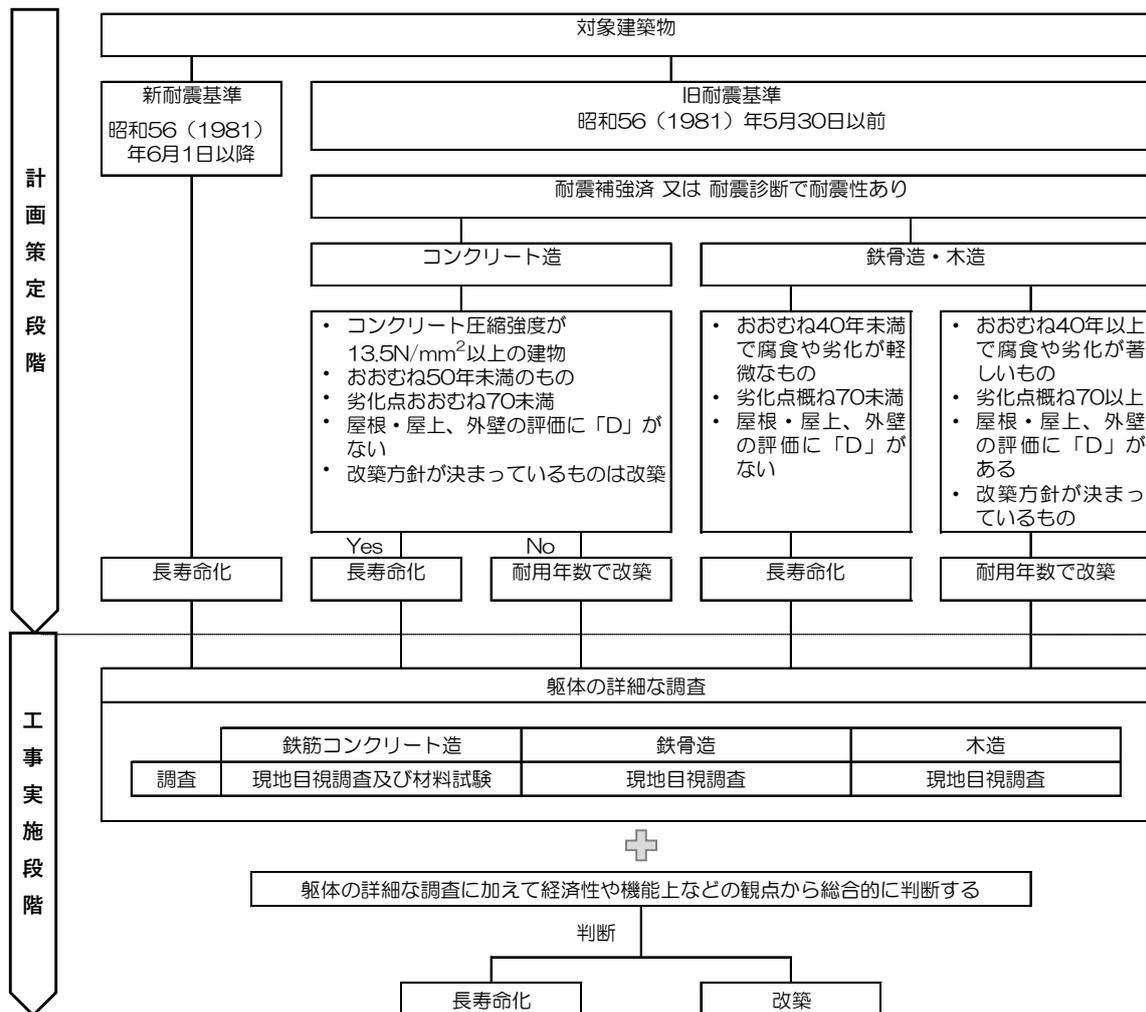
資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月）付属プログラムを利用して、管理区分による集約棟を対象に作成

3-3 長寿命化対象施設の考え方

長寿命化対象施設の判定

次の長寿命化判定フローにより、長寿命化改修を検討する建築物又は建替え（改築）を検討する建物に分類します。なお、工事実施段階においては、建築物の構造別に現地目視調査や材料試験等を実施し、それらの結果から総合的に判断して、長寿命化に向けた対策を実施することとします。

長寿命化対象施設選定フロー



【長寿命化に適さない施設】 「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」（平成 27 年 4 月）

- 鉄筋コンクリート劣化が激しく、改修に多額の費用がかかるため、建替え（改築）した方が経済的に望ましい施設
- コンクリート強度が著しく低い施設（おおむね 13.5N/mm² 以下）
- 基礎の多くの部分で鉄筋が腐食している施設
- 校地環境の安全性が欠如している施設
- 建物の配置に問題があり、改修によっては適切な教育環境を確保できない施設
- 学校の適正配置等、地域の実情により建替え（改築）せざるを得ない施設

長寿命化等の判定結果

大分類	施設番号	施設名称		建築年度	経過年数	構造記号	延床面積 ㎡	健全度	経年劣化点	劣化点	総合劣化度	長寿命方針化等
子育て支援施設	1	認定こども園たのの	園舎	2015	5	W	644	100	5	0	5	長寿命
子育て支援施設	1	認定こども園たのの	プール	2015	5	RC	50	100	5	0	5	長寿命
学校教育系施設	2	仁井田小学校	校舎（管理教室棟）	1987	33	RC	909	75	33	25	58	長寿命
学校教育系施設	2	仁井田小学校	校舎（特別教室棟）	1988	32	RC	499	75	32	25	57	長寿命
学校教育系施設	2	仁井田小学校	屋内運動場	1999	21	RC	650	75	21	25	46	長寿命
学校教育系施設	2	仁井田小学校	プール	1980	40	RC	325	75	40	25	65	改築
学校教育系施設	2	仁井田小学校	プール付属室	1981	39	S	44	75	39	25	64	改築
学校教育系施設	3	影野小学校	校舎（管理教室棟）	1990	30	W	1,469	75	30	25	55	長寿命
学校教育系施設	3	影野小学校	屋内運動場	1999	21	RC	660	75	21	25	46	長寿命
学校教育系施設	3	影野小学校	プール	1981	39	RC	325	75	39	25	64	改築
学校教育系施設	3	影野小学校	プール付属室	1981	39	S	48	75	39	25	64	改築
学校教育系施設	3	影野小学校	ポンプ室	1991	29	RC	6	75	29	25	54	改築
学校教育系施設	3	影野小学校	倉庫（2）	1976	44	W	54	53	44	47	91	改築
学校教育系施設	4	七里小学校	校舎管理教室棟（1・2）	1996	24	RC	1,280	77	24	23	47	長寿命
学校教育系施設	4	七里小学校	屋内運動場	1978	42	S	400	40	42	60	102	長寿命
学校教育系施設	4	七里小学校	プール	1994	26	RC	325	75	26	25	51	改築
学校教育系施設	4	七里小学校	プール付属室	1994	26	S	48	72	26	28	54	改築
学校教育系施設	5	米奥小学校	校舎 管理教室棟（1・2）	1993	27	RC	1,280	75	27	25	52	長寿命
学校教育系施設	5	米奥小学校	屋内運動場	1984	36	S	405	75	36	25	61	長寿命
学校教育系施設	5	米奥小学校	プール	2002	18	RC	325	81	18	19	37	改築
学校教育系施設	5	米奥小学校	プール付属室	1998	22	S	48	75	22	25	47	改築
学校教育系施設	6	窪川小学校	校舎（普通・特別）	1978	42	RC	3,586	57	42	43	85	改築
学校教育系施設	6	窪川小学校	校舎（特別教室棟）	2002	18	S	73	91	18	9	27	改築
学校教育系施設	6	窪川小学校	屋内運動場	1979	41	S	726	48	41	53	94	改築
学校教育系施設	6	窪川小学校	プール	1970	50	RC	325	66	50	34	84	改築
学校教育系施設	6	窪川小学校	プール付属室	1970	50	S	52	53	50	47	97	改築
学校教育系施設	6	窪川小学校	体育倉庫	1994	26	S	34	82	26	18	44	改築
学校教育系施設	7	若井川小学校（休校）	校舎（管理教室棟）、給食棟	1978	42	RC	782	75	42	25	67	改築
学校教育系施設	7	若井川小学校（休校）	屋内運動場	1980	40	S	405	87	40	13	53	改築
学校教育系施設	7	若井川小学校（休校）	便所棟	1978	42	RC	28	70	42	31	73	改築
学校教育系施設	7	若井川小学校（休校）	倉庫	1992	28	W	17	75	28	25	53	改築
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校（休校）	校舎（管理教室棟）	1978	42	RC	895	75	42	25	67	改築
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校（休校）	屋内運動場	1983	37	S	405	75	37	25	62	改築
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校（休校）	プール	1999	21	RC	325	75	21	25	46	改築
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校（休校）	プール付属室	1999	21	RC	48	75	21	25	46	改築
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校（休校）	体育施設棟	1979	41	S	27	85	41	15	56	改築
学校教育系施設	9	川口小学校	校舎（管理教室棟）（特別教室棟）	1977	43	RC	1,212	77	43	23	66	長寿命
学校教育系施設	9	川口小学校	屋内運動場	1979	41	S	448	75	41	25	66	長寿命
学校教育系施設	9	川口小学校	プール	1996	24	RC	325	75	24	25	49	改築
学校教育系施設	9	川口小学校	プール付属室	1996	24	RC	49	75	24	25	49	改築
学校教育系施設	9	川口小学校	倉庫	2001	19	S	18	72	19	28	47	改築
学校教育系施設	9	川口小学校	体育倉庫	2002	18	W	32	75	18	25	43	改築

大分類	施設番号	施設名称		建築年度	経過年数	構造記号	延床面積㎡	健全度	経年劣化点	劣化点	総合劣化度	長寿命化等
学校教育系施設	10	東又小学校	校舎	1985	35	RC	1,655	75	35	25	60	長寿命
学校教育系施設	10	東又小学校	屋内運動場	1994	26	S	520	75	26	25	51	長寿命
学校教育系施設	10	東又小学校	プール	2017	3	RC	178	100	3	0	3	改築
学校教育系施設	10	東又小学校	プール付属室	2018	2	W	85	100	2	0	2	改築
学校教育系施設	11	興津小学校	校舎（管理教室棟）（特別教室棟）便所棟	1965	55	RC	1,423	75	55	25	80	改築
学校教育系施設	11	興津小学校	屋内運動場	1981	39	S	544	75	39	25	64	長寿命
学校教育系施設	11	興津小学校	プール	1988	32	RC	325	75	32	25	57	改築
学校教育系施設	11	興津小学校	プール付属室	1988	32	RC	64	75	32	25	57	改築
学校教育系施設	11	興津小学校	倉庫	1987	33	W	22	94	33	6	39	改築
学校教育系施設	11	興津小学校	体育器具庫	2011	9	W	35	98	9	2	11	改築
学校教育系施設	12	田野々小学校	校舎	1986	34	RC	1,868	75	34	25	59	長寿命
学校教育系施設	12	田野々小学校	屋内運動場	1987	33	RC	1,004	75	33	25	58	長寿命
学校教育系施設	12	田野々小学校	プール	1986	34	RC	325	75	34	25	59	改築
学校教育系施設	12	田野々小学校	プール付属室	1986	34	RC	81	75	34	25	59	改築
学校教育系施設	13	大奈路小学校（休校）	校舎（特別教室棟）	1987	33	W	397	75	33	25	58	改築
学校教育系施設	13	大奈路小学校（休校）	校舎（管理教室棟）保健室	1991	29	W	560	100	29	0	29	改築
学校教育系施設	13	大奈路小学校（休校）	屋内運動場	1971	49	S	607	75	49	25	74	改築
学校教育系施設	13	大奈路小学校（休校）	プール	1979	41	RC	325	75	41	25	66	改築
学校教育系施設	14	北ノ川小学校	校舎	1966	54	RC	969	75	54	25	79	改築
学校教育系施設	14	北ノ川小学校	プール	1974	46	RC	325	75	46	25	71	改築
学校教育系施設	14	北ノ川小学校	プール付属室	1974	46	RC	22	75	46	25	71	改築
学校教育系施設	15	十川小学校	校舎1	1968	52	RC	1,173	43	52	57	109	改築
学校教育系施設	15	十川小学校	校舎2	1991	29	W	126	75	29	25	54	改築
学校教育系施設	15	十川小学校	特別教室	2003	17	RC	378	91	17	9	26	長寿命
学校教育系施設	15	十川小学校	屋内運動場	1976	44	S	573	53	44	47	91	改築
学校教育系施設	15	十川小学校	プール	1991	29	RC	325	75	29	25	54	改築
学校教育系施設	15	十川小学校	プールポンプ室等機械室	1992	28	RC	56	75	28	25	53	改築
学校教育系施設	16	昭和小学校	校舎（管理教室棟）配膳室	1973	47	RC	1,036	75	47	25	72	改築
学校教育系施設	16	昭和小学校	校舎（教室棟）	1973	47	RC	1,186	75	47	25	72	改築
学校教育系施設	16	昭和小学校	屋内運動場	1998	22	S	1,379	84	22	16	38	長寿命
学校教育系施設	16	昭和小学校	プール	1975	45	RC	325	75	45	25	70	改築
学校教育系施設	16	昭和小学校	プール付属室	1975	45	RC	66	75	45	25	70	改築
学校教育系施設	17	窪川中学校	校舎（普通教室棟）	1972	48	RC	6,025	75	48	25	73	改築
学校教育系施設	17	窪川中学校	校舎（技術教室棟）	2010	10	W	251	98	10	2	12	長寿命
学校教育系施設	17	窪川中学校	屋内運動場	1975	45	S	1,120	53	45	47	92	改築
学校教育系施設	17	窪川中学校	機械室	1972	48	RC	42	53	48	47	95	改築
学校教育系施設	17	窪川中学校	プール	1982	38	RC	325	55	38	45	83	改築
学校教育系施設	17	窪川中学校	プール付属室	1982	38	S	86	65	38	35	73	改築
学校教育系施設	17	窪川中学校	部室 倉庫	2002	18	S	66	91	18	9	27	改築
学校教育系施設	18	興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（管理教室棟）	1972	48	RC	1,342	77	48	23	71	長寿命
学校教育系施設	18	興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（特別教室棟）	1979	41	S	60	75	41	25	66	改築
学校教育系施設	18	興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（特別教室棟）	1989	31	RC	180	84	31	16	47	長寿命

大分類	施設番号	施設名称		建築年度	経過年数	構造記号	延床面積㎡	健全度	経年劣化点	劣化点	総合劣化度	長寿命方針化等
学校教育系施設	19	大正中学校	校舎	2011	9	RC	1,965	91	9	9	18	長寿命
学校教育系施設	19	大正中学校	校舎（技術棟）	1999	21	S	265	75	21	25	46	長寿命
学校教育系施設	19	大正中学校	校舎（特別教室）	1998	22	S	265	75	22	25	47	長寿命
学校教育系施設	19	大正中学校	プール	2012	8	RC	325	100	8	0	8	改築
学校教育系施設	19	大正中学校	プール付属室A	2012	8	W	65	100	8	0	8	改築
学校教育系施設	19	大正中学校	プール付属室B	2012	8	W	26	100	8	0	8	改築
学校教育系施設	19	大正中学校	プール機械室	2012	8	W	18	100	8	0	8	改築
学校教育系施設	20	北ノ川中学校	校舎	1993	27	W	999	93	27	7	34	長寿命
学校教育系施設	20	北ノ川中学校	屋内運動場	1972	48	S	607	75	48	25	73	改築
学校教育系施設	20	北ノ川中学校	便所棟	1981	39	S	31	75	39	25	64	改築
学校教育系施設	21	十川中学校	校舎	1965	55	RC	1,168	40	55	60	115	改築
学校教育系施設	21	十川中学校	校舎（特別教室棟）	1983	37	RC	564	65	37	35	72	改築
学校教育系施設	21	十川中学校	屋内運動場	1976	44	S	629	53	44	47	91	改築
学校教育系施設	22	昭和中学校（休校）	校舎（管理教室棟）	1978	42	RC	1,669	75	42	25	67	改築
学校教育系施設	22	昭和中学校（休校）	校舎（技術棟）	1979	41	S	160	75	41	25	66	改築
学校教育系施設	22	昭和中学校（休校）	便所棟	1992	28	W	4	75	28	25	53	改築
学校教育系施設	23	窪川学校給食センター	共同調理場	2008	12	S	1,453	100	12	0	12	長寿命
学校教育系施設	24	大正学校給食センター	共同調理場	1997	23	RC	357	72	23	28	51	長寿命
学校教育系施設	25	十和学校給食センター	共同調理場	2005	15	S	494	100	15	0	15	長寿命

（補足説明）

第2期四万十町立小中学校適正配置計画において、改築については、校舎・体育館は概ね築60年を目途に、プールは築50年を目途とし、長寿命化改修は、校舎・体育館は概ね築50年を目途に、実施後80年まで使用することを予定する記載があります。本計画では、解説書（平成29年3月）付属プログラムを利用して、集約棟毎に作成するため、計画予定時期が異なります。また、プール、プール付属棟に関しては長寿命化改修の予定はありません。

休校および休校予定施設については長寿命化の実施計画、ライフサイクルコスト（LCC）を算定しませんが、今後、人口の変化、財政状況、住民ニーズ、社会環境変化により、柔軟に見直すこととします。

（参考）

長寿命化改修は、築40年以上の建築物が対象かつ改修後30年以上使用することが国庫補助の要件です。

第 4 章 学校施設等整備の基本的な方針等

4-1 学校施設の規模・配置計画等の方針

(1) 建築系公共施設の管理に関する基本的な考え方

「四万十町公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）」では、今後の人口動向や厳しい財政見通しを踏まえて、公共施設等の更新費用の抑制と平準化に努めながら、町民の福祉の維持・向上を図り、公共施設の適正な管理に向け、以下のとおり基本方針を示しています。

■ 施設ごとの管理に関する基本的な方針（公共施設等総合管理計画から抜粋）

(1) 学校教育系施設

基本方針

- ◆学校教育系施設は四万十町立小中学校適正配置計画等に沿って統合・整理を実施していきます。
- ◆学校教育系施設は、日常的な自主点検を実施し、老朽箇所の把握と安全の確保を行います。
- ◆建築系の長期にわたる基本的な機能。性能あるいは安全性を維持していくために、計画的な改修、修繕等を実施し、適正に維持保全していく必要があります。そのため、様々な規模・内容の工事がある中で大規模改修と部分改修を勘案して、中長期保全計画を作成します。建築構造により、異なりますが躯体耐用年数（財産処分年数：鉄筋コンクリート造であれば 60 年）の間、学校施設として活用することを基準に考え、築 30 年前後の大規模改修工事を検討・計画して実施します。また躯体耐用年数が残存 10 年未満のものより建て替え・更新等を検討します。
- ◆老朽化が進んだ施設は、施設コストが増えることが予想されますが、予防保全を実施することでトータルコストの縮減を図ります。また、水道光熱費が割高の施設については、運用や設備における省エネ策を検討します。清掃等の委託費については、各施設に共通する業務委託における仕様の標準化や委託の包括化などの方法を検討しコストダウンを図ります。

(2) 子育て支援施設

基本方針

- ◆古い保育所から改修や建て替えを検討し、児童数を考えながら統合等を検討して行きます。
- ◆将来の児童数の予測を踏まえ、本町の学校教育方針や子育て支援の方針、財政状況、地域の実情等を考慮した上で、数量の最適化を図ります。数量の適正化においては、園舎が更新を迎える時期の児童数のみならず躯体耐用年数間の変動を勘案し、増改築、用途変更、統廃合などに柔軟に対応できるようにします。
- ◆施設の状況を的確に把握し管理するため、管理データを整備し、定期点検を行って予防保全的な維持管理を実施します。また、修繕履歴データを蓄積することで、更新時期や実態に応じた劣化状況を把握し、適切に更新・修繕を行える環境を構築します。
- ◆老朽化が進んだ施設は、施設コストが増えることが予想されますが、予防保全を実施することでトータルコストの縮減を図ります。また、水道光熱費が割高の施設については、運用や設備における省エネ策を検討します。清掃等の委託費については、各施設に共通する業務委託における仕様の標準化や委託の包括化などの方法を検討しコストダウンを図ります。

施設の更新や改修などの整備方法として、「事後保全」と「予防保全」の2つが挙げられており、従来の施設整備は「事後保全」が適用されています。

「事後保全」は建物に劣化や破損など不具合が発生してから保全を行う整備方法で、一時的な費用は抑えられますが、結果として長期間における機能の維持や使用が困難となり、結果として多額の費用を要する場合があります。

これに対して「予防保全」では、施設に不具合が生じる前にメンテナンスを施し、突発的な事故を少なくすることができ、それに伴う多額の費用の発生を抑えることが期待できます。また、計画的な修繕を行うことで、従来の事後保全での整備と比較して施設を長く使用することができるため、「学校施設等の長寿命化」を図る上で「予防保全」の考え方が重要になります。

(2) 第 2 期四万十町立小中学校適正配置計画による「適正配置」に関する基本方針

第 2 期四万十町立小中学校適正配置計画の中で、「四万十町の将来を担う子どもたちが、よりよい教育条件、教育環境の下で教育を受けること」を基本に学校教育系施設に関する基本的な方針を次のとおり定めています。

適正配置の基準

- ◆「四万十町として望ましい規模」を基本に適正配置を実施します。
- ◆「望ましい規模」の基準とする生徒数は「令和元年度確定値」とします。
- ◆「望ましい規模」の基準とする児童数は「令和 3 年度推計値」とします。

適正配置の方法

- ◆「学校統合」を基本として「適正配置」を実施し、必要に応じて、「通学区域の見直し」・「学校統合と校区の見直しの併用」について検討します。

適正配置を進めるうえで考慮する事項

以下の事項を考慮して適正配置を進めます。

- ◆「通学時間」自宅一学校間は、おおむね 1 時間以内とします。
- ◆「通学の安全性」
- ◆「地域性」基本的に旧 3 町村で 1 小 1 中は維持するものとします。
ただし、今後、過度に児童・生徒数が減少する場合はこの限りではありません。
- ◆「保護者・地域住民の理解と協力」
- ◆「小学校においては、保育所配置との連携」
施設老朽化に伴う小学校・保育所等の施設建替えに合わせ、並列で施設を建設する等ハード面を検討します。
- ◆「学校施設の安全性」
安全対策を講じたうえ、なお土砂災害の危険性等情况がある場合、適正規模を満たすか否かを問わず、保護者等との協議により、校舎位置を検討します。
- ◆「総合振興計画との連携・整合性」

適正配置計画（中学校）

- ◆平成 30 年度の中学 1 年生が卒業後の令和 3 年 4 月に統合とします。
- ◆令和元年度の生徒数が現在の各中学校単位で四万十町における望ましい規模（適正規模）を満たしていない場合、かつ令和 3 年度以降も継続して適正規模を満たさない見込みの場合に統合します。（※地域性を考慮し、長期的に 1 学級 10 名以上が見込まれる場合は統合しません。）
ただし、令和元年度以降、生徒数の上昇が見込まれ令和 6 年度以降継続して適正規模を満たすことが見込まれる場合は、この限りではありません。
保護者等との合意形成が図られれば時期の前倒しも可能とします。

◆適正配置計画（中学校）

学校名 (R1 生徒数確定)	R1 基準 → R3 統合	校舎位置
窪川中 (255)	窪川中校舎 2031 (R13) 年 改築 (予定)	窪川中
興津中 (4)	窪川中体育館 2035 (R17) 年 改築 (予定)	
	窪川中プール 2032 (R14) 年 改築 (予定)	
大正中 (37)	大正中校舎 2060 (R42) 年 長寿命化改修 (予定)	大正中
北ノ川中 (16)	大正中体育館 社会体育施設	
	大正中プール 2061 (R43) 年 改築 (予定)	
十川中 (39)	十川中校舎 2025 (R7) 年 改築 (予定)	十川中
	十川小中体育館 2025 (R7) 年 長寿命化改修 (予定)	
	十川中プール 十川小プールを共用	

適正配置計画（小学校）

- ◆平成 30 年度の小学 1 年生が卒業後の令和 6 年 4 月に統合とします。
- ◆令和 3 年度の児童数が現在の各小学校単位で適正規模を満たしていない場合、かつ令和 6 年度以降も継続して適正規模を満たさない見込みの場合は統合とします。
- ◆保護者等との合意形成が図られれば時期の前倒しも可能とします。

◆適正配置計画（小学校）

学校名 (R3 児童数推計)	R3 基準 → R6 統合	校舎位置
仁井田 (28)	窪川小校舎 2027 (R9) 年 長寿命化改修 (予定)	窪川小
影野小 (22)	もしくは 窪川小体育館 2028 (R10) 年 長寿命化改修 (予定)	
	七里小 (43)	
米奥小 (18)	※ただし、仁井田地区及び松葉川地区においては、当該地区の現 2 校合わせて令和 6 年度以降も適正規模を満たすことが見込まれる場合は、当該地区において 1 校に統合するものとします。	
窪川小 (272)		
川口小 (27)		
東又小 (64)	東又小校舎 2035 (R17) 年 長寿命化改修 (予定)	東又小
興津小 (19)	東又小体育館 2043 (R25) 年 長寿命化改修 (予定)	
	東又小プール 2067 (R49) 年 改築 (予定)	
田野々小 (45)	田野々小校舎 2035 (R17) 年 長寿命化改修 (予定)	田野々小
北ノ川小 (23)	田野々小体育館 2036 (R18) 年 長寿命化改修 (予定)	
	田野々小プール 2036 (R18) 年 改築 (予定)	
十川小 (45)	十川小校舎 2027 (R9) 年 改築 (予定)	十川小
昭和小 (36)	十川小体育館 2025 (R7) 年 長寿命化改修 (予定)	
	十川小プール 2042 (R24) 年 改築 (予定)	

4-2 改修等の基本的な方針

(1) 耐用年数の考え方

従来の建物の耐用年数として、文部科学省の「学校施設の老朽化対策について（平成 25 年 3 月）」によると、学校施設の改築までの平均年数は、鉄筋コンクリート造りの場合、概ね 42 年となっています。

長寿命化計画を検討するにあたって、耐用年数の考え方について整理すると、法定耐用年数、物理的耐用年数、機能的耐用年数、経済的耐用年数などがあり、それらの特性は以下のとおりです。

耐用年数の考え方

法定耐用年数	税務上の減価償却率を求める場合の基となる耐用年数で、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和 40 年大蔵省令第 15 号）により定められている年数です。 なお、法定耐用年数は、省令制定ときに建物を構成する主要な部位（構造躯体、外装、床等）ごとの耐用年数を総合的に勘案して算出されたといわれており、構造躯体の劣化によって建物が使用できなくなる寿命ではないとされています。
物理的耐用年数	材料・部品・設備が劣化して建物の性能が低下することによって決定される年数です。
機能的耐用年数	建築物が時代の変遷とともに期待される機能を果たせなくなってしまうことで決定される年数です。しかしながら、技術的には機能を向上させることは可能なため、その費用がどの程度かかるかによって、機能的耐用年数に大きく影響します。
経済的耐用年数	建築物を存続させるために必用となる費用が、建築物を存続させることによって得られる価値を上回ってしまうことで決定される年数です。 ただし、実際には公共施設の多くは、建築物を存続させることによって得られる価値の算定が難しい面があります。

(2) 目標とする耐用年数の設定

本計画における耐用年数は、物理的耐用年数を採用することとし、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参照し、構造別に以下のように設定します。

建築物の構造別の目標とする耐用年数

構造		耐用年数	目標耐用年数
鉄筋コンクリート造（RC造）		60年	80年
鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）			
鉄骨造	重量（S造）	60年	80年
	軽量（LS造）	40年	50年
ブロック造、レンガ造		60年	80年
木造（W造）		60年	80年

建築物全体の望ましい目標とする耐用年数の級

用途	鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造・レンガ造	木造
	高品質の場合	普通品質の場合	重量鉄骨		軽量鉄骨		
			高品質の場合	普通品質の場合			
学校 官庁	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上	Y _o 60以上	Y _o 60以上
住宅 事務所 病院	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上
店舗旅館・ホテル	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 100以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上	Y _o 60以上	Y _o 40以上
工場	Y _o 40以上	Y _o 25以上	Y _o 40以上	Y _o 25以上	Y _o 25以上	Y _o 25以上	Y _o 25以上

資料：「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）

目標とする耐用年数の級の区分

級	目標耐用年数	代表値	範囲	下限値
	Y _o 150	150年	120~200年	120年
	Y _o 100	100年	80~120年	80年
	Y _o 60	60年	50~80年	50年
	Y _o 40	40年	30~50年	30年
	Y _o 25	25年	20~30年	20年
	Y _o 15	15年	12~20年	12年
	Y _o 10	10年	8~12年	8年
	Y _o 6	6年	5~8年	5年
	Y _o 3	3年	2~5年	2年

資料：「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）

(3) 改修期間の設定

目標耐用年数まで、安全で快適に施設を使用するためには、施設の劣化状況等を考慮しながら計画的な予防保全を実施する必要があります。

なお、それらの更新周期は、部位・設備等によって異なりますが、屋根、外壁についてはおおむね 40 年、設備についてはおおむね 30 年程度となっています。

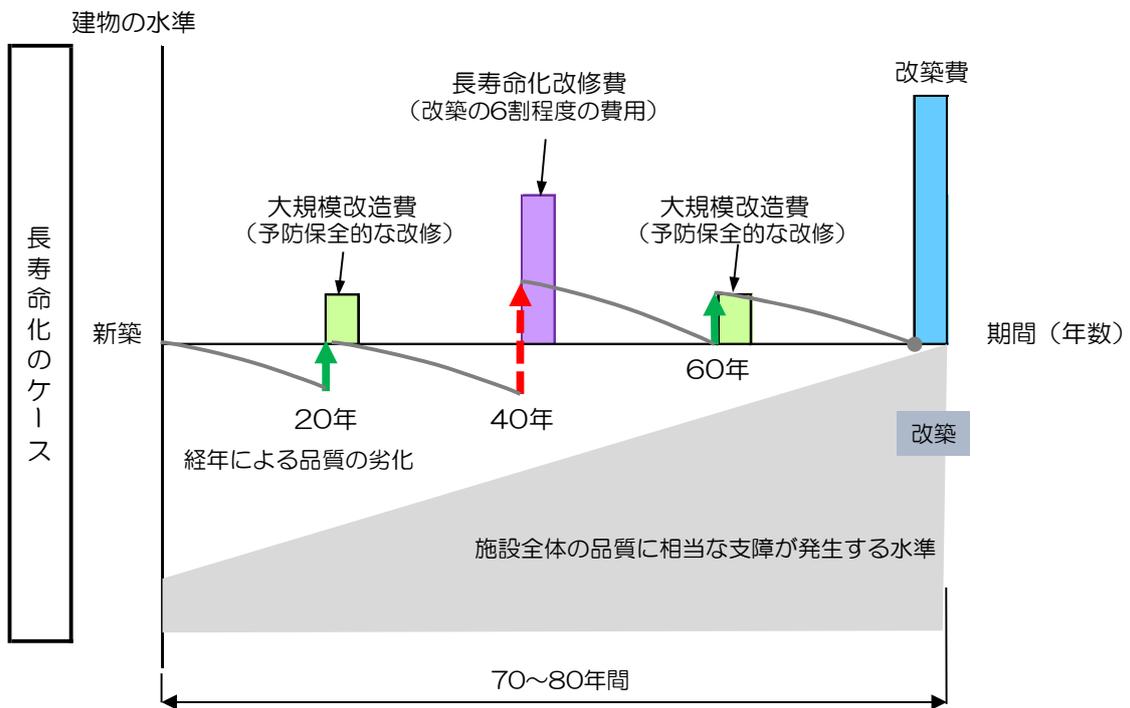
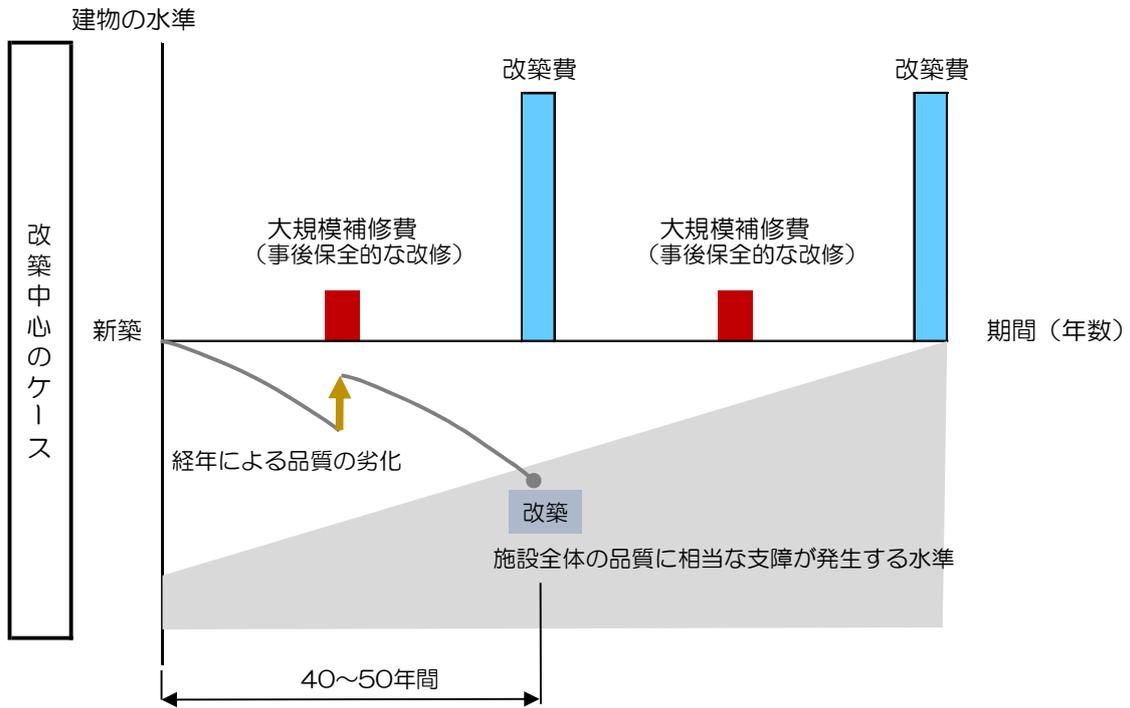
また、屋根、外壁における塗料の塗替えや上塗り再塗装等の修繕周期はおおむね 10～20 年となっています。これらを踏まえて、大規模改修の周期を 20 年とし、長寿命化改修の周期を 40 年とします。

部位ごとの主な修繕工事と更新周期の目安

部位・設備等	主な修繕工事	同時に措置した方が良い 部位・設備等の例	更新周期の目安（年）
屋根	防水改修	排水溝（ルーフトレン）、笠木、屋上 手すり、設備架台、断熱材	露出防水：25～40年 （露出防水、シート防水、塗膜防水等） 葺き屋根：40年 （スレート、折板等）
外壁	仕上げ改修 （塗装、吹付、タイル張替え等）	シーリング、外部建具、笠木、樋、断 熱材	壁：20～50年 （タイル、塗材塗り、塗装、スレート等）
	クラック補修、浮き補修	シーリング、外部建具、笠木	—
	建具改修 （サッシ等）	シーリング	建具（アルミ）：40年
電気設備	受変電設備改修	分電盤、変圧機、コンデンサ、幹線	高圧受配電盤：25～30年 高圧変圧器盤：25～30年
空調設備	冷暖房設備改修 （空調機等）	ポンプ、冷却塔、配管等、屋上防水	空気調和機：20～30年
	熱源改修	配管等	空調配管類：30年
給排水衛生設備	給排水設備改修	ポンプ、受水槽配管、（冷温水管）等	給水給湯配管類：25～30年 排水配管類：30～40年

資料：「公共建築の部位・設備の特性等を踏まえた中長期修繕計画策定及び運用のためのマニュアル（平成 17 年 6 月）」
※更新周期の目安は、「平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト」を基に、
関連する部位等から予防保全のものを選定した。

改築中心から長寿命化への転換イメージ



第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

5-1 改修等の整備水準

施設を快適で安全に、また、長く利用するためには、様々な改修が必要となることから、施設を長く利用するための長寿命化に向けた改修と施設の機能や性能の向上を図るための改修を行います。

(1) 長寿命化に資する改修

屋根や外壁の劣化、損傷は、構造躯体に影響を及ぼし、建築物全体の寿命を縮めることにつながることから、定期的に修繕や更新を行うこととします。この場合、対策に要する費用と更新周期を考慮し、ライフサイクルコストの観点から耐久性に優れた安価な材料、工法等を選択することとします。

また、躯体については、コンクリートのひび割れの補修や中性化対策、鉄筋の腐食対策を実施するなど、経年劣化の回復に努めます。なお、施設の機能向上や長寿命化に向けた大規模な改修を実施する際には、コンクリートの強度、中性化深さ等を把握するため、コア抜き調査の実施について検討することとします。

屋根・外壁改修の事例

屋上防水改修例	金属屋根改修例	中性化抑制対策
		
既存防水層を残したシート防水かぶせ工法の例。撤去工法に比べて工期短縮が可能となる。	耐久性の高いガルバリウム鋼板を用いた金属屋根の例。塗り直しは約15年ごとに行う。	躯体に中性化抑制材を塗布することで中性化したコンクリートの改質強化、クラックの抑制効果が得られる。

資料：「学校施設の長寿命化改修の手引き」（平成26年1月）

(2) 機能や性能の向上に資する改修

経済・社会情勢の変革や技術の発達により、施設に求められる「要求性能」については、年々高まる傾向にあります。それに伴い、品質が低下していなくても、相対的に性能が低く評価されることとなり、機能の旧式化が発生することとなります。このため、建築物を長期間にわたって使用し続ける間には、社会的なニーズ等に合わせて、性能の向上が必要となります。

本町でも、学校施設への空調設置やエレベーターの設置等快適な学校生活や時代に応じた教育環境への対応に向けた環境整備に努めます。

また、「エコスクール環境を考慮した学校施設の整備推進（平成 29 年 6 月）」に基づき、太陽光発電の設置などを検討することとします。

エコスクール、バリアフリーの事例

太陽光発電設備	LED 照明の設置	多目的トイレ
		
<p>太陽光発電設備と蓄電池の組み合わせで、停電時や異常時における対応が可能</p>	<p>LED 照明の設置により、省エネルギーで明るい室内空間の提供</p>	<p>車イス利用者も使用可能な多目的トイレ</p>

資料：「自然の恵みを活用したエコスクール（平成 23 年 8 月）」、「エコスクール環境を考慮した学校施設の整備推進（平成 29 年 6 月）」、「学校施設の長寿命化改修の手引き（平成 26 年 1 月）」

5-2 維持管理の項目・手法等

児童・生徒等が安全で安心な学校生活等を送るためには、学校・子育て支援施設管理者（以下、「管理者」という。）と学校・子育て支援施設設置者（以下、「設置者」という。）において、校舎・施設等内外の施設・設備を点検し、危険を事前に発見するとともに、危険の除去等の改善措置を講じる必要があります。

ここで、設置者は、点検の目的や主体、時期、項目、方法等を定めた点検方針を策定し、管理者は、主に目視による錆やひび割れなどの異常を発見し、その進行状況を確認します。

また、設置者または管理者は、専門業者に依頼し、消防用設備の点検等を実施します。

管理者は、学校保健安全法施行規則に基づく安全点検を実施することとし、この点検方法については、「非構造部材の点検チェックリスト」などを利用した点検とします。

なお、本町において、子育て支援施設については学校に準じて実施するものとし、また、管理者が実施した点検結果は、設置者に報告するものとし、

学校保健安全法施行規則に基づく安全点検

安全点検の種類	時期・方法等	対 象	法的根拠等
定期の安全点検	毎学期1回以上 計画的に、また教職員 全員が組織的に実施	児童生徒等が使用する 施設・設備及び防火、防 災、防犯に関する設備 などについて	毎学期1回以上、幼児、 児童、生徒又は学生が 通常使用する施設及び 設備の異常の有無につ いて系統的に行わなけ ればならない（規則第 28条第1項）
	毎月1回 計画的に、また教職員 全員が組織的に実施	児童生徒等が多く使用 すると思われる校地、 運動場、教室、特別教 室、廊下、昇降口、ペラ ンダ、階段、便所、手洗 い場、給食室、屋上など	明確な規定はないが、 各学校の実情に應じ て、上記（規則第28条 第1項）に準じて行わ れる例が多い
臨時の安全点検	必要があるとき ・運動会や体育祭、学芸 会や文化祭、展覧会 などの学校行事の前 後 ・暴風雨、地震、近隣で の火災などの災害時 ・近隣で危害のおそれ のある犯罪（侵入や 放火など）の発生時 など	必要に応じて点検項目 を設定	必要があるときは、臨 時に、安全点検を行う （規則第28条第2項）
日常の安全点検	毎授業日ごと	児童生徒等が最も多く 活動を行うと思われる 箇所について	設備等について日常的 な点検を行い、環境の 安全の確保を図らなけ ればならない（規則第 29条）

資料：「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育（平成31年3月）

第6章 長寿命化の実施計画

6-1 改修等の優先順位付けと実施計画

(1) 施設の優先順位付け

施設調査結果から健全度を算出しましたが、経年変化に伴う施設の老朽化の進行も生じていることを考慮し、総合劣化度を算出します。

ここでは、103棟（長寿命化、建替え（改築）方針の建物）について、次式により算出します。

$$\boxed{\text{総合劣化度}} = \boxed{\text{劣化点 (100 - 健全度)}} + \boxed{\text{経年劣化点 (経過年数)}}$$

総合劣化度判定

大分類	施設番号	施設名称		建築年度	経過年数	構造記号	延床面積㎡	健全度	経年劣化点	劣化点	総合劣化度	総合劣化度が大きい順
子育て支援施設	1	認定こども園たのの	園舎	2015	5	W	644	100	5	0	5	100
子育て支援施設	1	認定こども園たのの	プール	2015	5	RC	50	100	5	0	5	100
学校教育系施設	2	仁井田小学校	校舎（管理教室棟）	1987	33	RC	909	75	33	25	58	49
学校教育系施設	2	仁井田小学校	校舎（特別教室棟）	1988	32	RC	499	75	32	25	57	52
学校教育系施設	2	仁井田小学校	屋内運動場	1999	21	RC	650	75	21	25	46	76
学校教育系施設	2	仁井田小学校	プール	1980	40	RC	325	75	40	25	65	37
学校教育系施設	2	仁井田小学校	プール付属室	1981	39	S	44	75	39	25	64	38
学校教育系施設	3	影野小学校	校舎（管理教室棟）	1990	30	W	1,469	75	30	25	55	56
学校教育系施設	3	影野小学校	屋内運動場	1999	21	RC	660	75	21	25	46	76
学校教育系施設	3	影野小学校	プール	1981	39	RC	325	75	39	25	64	38
学校教育系施設	3	影野小学校	プール付属室	1981	39	S	48	75	39	25	64	38
学校教育系施設	3	影野小学校	ポンプ室	1991	29	RC	6	75	29	25	54	57
学校教育系施設	3	影野小学校	倉庫（2）	1976	44	W	54	53	44	47	91	8
学校教育系施設	4	七里小学校	校舎管理教室棟（1・2）	1996	24	RC	1,280	77	24	23	47	71
学校教育系施設	4	七里小学校	屋内運動場	1978	42	S	400	40	42	60	102	3
学校教育系施設	4	七里小学校	プール	1994	26	RC	325	75	26	25	51	66
学校教育系施設	4	七里小学校	プール付属室	1994	26	S	48	72	26	28	54	57
学校教育系施設	5	米奥小学校	校舎 管理教室棟（1・2）	1993	27	RC	1,280	75	27	25	52	65
学校教育系施設	5	米奥小学校	屋内運動場	1984	36	S	405	75	36	25	61	44
学校教育系施設	5	米奥小学校	プール	2002	18	RC	325	81	18	19	37	85
学校教育系施設	5	米奥小学校	プール付属室	1998	22	S	48	75	22	25	47	71
学校教育系施設	6	窪川小学校	校舎（普通・特別）	1978	42	RC	3,586	57	42	43	85	11
学校教育系施設	6	窪川小学校	校舎（特別教室棟）	2002	18	S	73	91	18	9	27	88
学校教育系施設	6	窪川小学校	屋内運動場	1979	41	S	726	48	41	53	94	6
学校教育系施設	6	窪川小学校	プール	1970	50	RC	325	66	50	34	84	12
学校教育系施設	6	窪川小学校	プール付属室	1970	50	S	52	53	50	47	97	4
学校教育系施設	6	窪川小学校	体育倉庫	1994	26	S	34	82	26	18	44	81

大分類	施設番号	施設名称		建築年度	経過年数	構造記号	延床面積㎡	健全度	経年劣化点	劣化点	総合劣化度	総合劣化度が大きい順
学校教育系施設	7	若井川小学校(休校)	校舎(管理教室棟)、給食棟	1978	42	RC	782	75	42	25	67	29
学校教育系施設	7	若井川小学校(休校)	屋内運動場	1980	40	S	405	87	40	13	53	61
学校教育系施設	7	若井川小学校(休校)	便所棟	1978	42	RC	28	70	42	31	73	17
学校教育系施設	7	若井川小学校(休校)	倉庫	1992	28	W	17	75	28	25	53	61
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校(休校)	校舎(管理教室棟)	1978	42	RC	895	75	42	25	67	29
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校(休校)	屋内運動場	1983	37	S	405	75	37	25	62	43
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校(休校)	プール	1999	21	RC	325	75	21	25	46	76
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校(休校)	プール付属室	1999	21	RC	48	75	21	25	46	76
学校教育系施設	8	口神ノ川小学校(休校)	体育施設棟	1979	41	S	27	85	41	15	56	55
学校教育系施設	9	川口小学校	校舎(管理教室棟)(特別教室棟)	1977	43	RC	1,212	77	43	23	66	32
学校教育系施設	9	川口小学校	屋内運動場	1979	41	S	448	75	41	25	66	32
学校教育系施設	9	川口小学校	プール	1996	24	RC	325	75	24	25	49	69
学校教育系施設	9	川口小学校	プール付属室	1996	24	RC	49	75	24	25	49	69
学校教育系施設	9	川口小学校	倉庫	2001	19	S	18	72	19	28	47	71
学校教育系施設	9	川口小学校	体育倉庫	2002	18	W	32	75	18	25	43	82
学校教育系施設	10	東又小学校	校舎	1985	35	RC	1,655	75	35	25	60	45
学校教育系施設	10	東又小学校	屋内運動場	1994	26	S	520	75	26	25	51	66
学校教育系施設	10	東又小学校	プール	2017	3	RC	178	100	3	0	3	102
学校教育系施設	10	東又小学校	プール付属室	2018	2	W	85	100	2	0	2	103
学校教育系施設	11	興津小学校	校舎(管理教室棟)(特別教室棟)便所棟	1965	55	RC	1,423	75	55	25	80	14
学校教育系施設	11	興津小学校	屋内運動場	1981	39	S	544	75	39	25	64	38
学校教育系施設	11	興津小学校	プール	1988	32	RC	325	75	32	25	57	52
学校教育系施設	11	興津小学校	プール付属室	1988	32	RC	64	75	32	25	57	52
学校教育系施設	11	興津小学校	倉庫	1987	33	W	22	94	33	6	39	83
学校教育系施設	11	興津小学校	体育器具庫	2011	9	W	35	98	9	2	11	95
学校教育系施設	12	田野々小学校	校舎	1986	34	RC	1,868	75	34	25	59	46
学校教育系施設	12	田野々小学校	屋内運動場	1987	33	RC	1,004	75	33	25	58	49
学校教育系施設	12	田野々小学校	プール	1986	34	RC	325	75	34	25	59	46
学校教育系施設	12	田野々小学校	プール付属室	1986	34	RC	81	75	34	25	59	46
学校教育系施設	13	大奈路小学校(休校)	校舎(特別教室棟)	1987	33	W	397	75	33	25	58	49
学校教育系施設	13	大奈路小学校(休校)	校舎(管理教室棟)保健室	1991	29	W	560	100	29	0	29	87
学校教育系施設	13	大奈路小学校(休校)	屋内運動場	1971	49	S	607	75	49	25	74	16
学校教育系施設	13	大奈路小学校(休校)	プール	1979	41	RC	325	75	41	25	66	32
学校教育系施設	14	北ノ川小学校	校舎	1966	54	RC	969	75	54	25	79	15
学校教育系施設	14	北ノ川小学校	プール	1974	46	RC	325	75	46	25	71	24
学校教育系施設	14	北ノ川小学校	プール付属室	1974	46	RC	22	75	46	25	71	24
学校教育系施設	15	十川小学校	校舎1	1968	52	RC	1,173	43	52	57	109	2
学校教育系施設	15	十川小学校	校舎2	1991	29	W	126	75	29	25	54	57
学校教育系施設	15	十川小学校	特別教室	2003	17	RC	378	91	17	9	26	90
学校教育系施設	15	十川小学校	屋内運動場	1976	44	S	573	53	44	47	91	8
学校教育系施設	15	十川小学校	プール	1991	29	RC	325	75	29	25	54	57
学校教育系施設	15	十川小学校	プールポンプ室等機械室	1992	28	RC	56	75	28	25	53	61

大分類	施設番号	施設名称		建築年度	経過年数	構造記号	延床面積 ㎡	健全度	経年劣化点	劣化点	総合劣化度	総合劣化度が 大きい順
学校教育系施設	16	昭和小学校	校舎（管理教室棟）配膳室	1973	47	RC	1,036	75	47	25	72	21
学校教育系施設	16	昭和小学校	校舎（教室棟）	1973	47	RC	1,186	75	47	25	72	21
学校教育系施設	16	昭和小学校	屋内運動場	1998	22	S	1,379	84	22	16	38	84
学校教育系施設	16	昭和小学校	プール	1975	45	RC	325	75	45	25	70	27
学校教育系施設	16	昭和小学校	プール付属室	1975	45	RC	66	75	45	25	70	27
学校教育系施設	17	窪川中学校	校舎（普通教室棟）	1972	48	RC	6,025	75	48	25	73	17
学校教育系施設	17	窪川中学校	校舎（技術科室棟）	2010	10	W	251	98	10	2	12	93
学校教育系施設	17	窪川中学校	屋内運動場	1975	45	S	1,120	53	45	47	92	7
学校教育系施設	17	窪川中学校	機械室	1972	48	RC	42	53	48	47	95	5
学校教育系施設	17	窪川中学校	プール	1982	38	RC	325	55	38	45	83	13
学校教育系施設	17	窪川中学校	プール付属室	1982	38	S	86	65	38	35	73	17
学校教育系施設	17	窪川中学校	部室 倉庫	2002	18	S	66	91	18	9	27	88
学校教育系施設	18	興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（管理教室棟）	1972	48	RC	1,342	77	48	23	71	24
学校教育系施設	18	興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（特別教室棟）	1979	41	S	60	75	41	25	66	32
学校教育系施設	18	興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（特別教室棟）	1989	31	RC	180	84	31	16	47	71
学校教育系施設	19	大正中学校	校舎	2011	9	RC	1,965	91	9	9	18	91
学校教育系施設	19	大正中学校	校舎（技術棟）	1999	21	S	265	75	21	25	46	76
学校教育系施設	19	大正中学校	校舎（特別教室）	1998	22	S	265	75	22	25	47	71
学校教育系施設	19	大正中学校	プール	2012	8	RC	325	100	8	0	8	96
学校教育系施設	19	大正中学校	プール付属室A	2012	8	W	65	100	8	0	8	96
学校教育系施設	19	大正中学校	プール付属室B	2012	8	W	26	100	8	0	8	96
学校教育系施設	19	大正中学校	プール機械室	2012	8	W	18	100	8	0	8	96
学校教育系施設	20	北ノ川中学校	校舎	1993	27	W	999	93	27	7	34	86
学校教育系施設	20	北ノ川中学校	屋内運動場	1972	48	S	607	75	48	25	73	17
学校教育系施設	20	北ノ川中学校	便所棟	1981	39	S	31	75	39	25	64	38
学校教育系施設	21	十川中学校	校舎	1965	55	RC	1,168	40	55	60	115	1
学校教育系施設	21	十川中学校	校舎（特別教室棟）	1983	37	RC	564	65	37	35	72	21
学校教育系施設	21	十川中学校	屋内運動場	1976	44	S	629	53	44	47	91	8
学校教育系施設	22	昭和中学校（休校）	校舎（管理教室棟）	1978	42	RC	1,669	75	42	25	67	29
学校教育系施設	22	昭和中学校（休校）	校舎（技術棟）	1979	41	S	160	75	41	25	66	32
学校教育系施設	22	昭和中学校（休校）	便所棟	1992	28	W	4	75	28	25	53	61
学校教育系施設	23	窪川学校給食センター	共同調理場	2008	12	S	1,453	100	12	0	12	93
学校教育系施設	24	大正学校給食センター	共同調理場	1997	23	RC	357	72	23	28	51	66
学校教育系施設	25	十和学校給食センター	共同調理場	2005	15	S	494	100	15	0	15	92

6-2 長寿命化の実施計画

長寿命化改修を検討する建築物又は建替え（改築）を検討する建物に分類した結果から、各建物の建築年度、築後年数、部位劣化状況等を考慮して、計画期間の令和3（2021）年度から令和12（2030）年度の10年間を含めた、今後40年間の計画を示します。

また、この計画は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月）付属プログラム（以下、「付属プログラム」という。）にて計算したものであり、人口の変化、財政状況、住民ニーズ及び社会環境の変化により、柔軟に見直すこととします。

整備スケジュール

（第1・2期計画 20年間）

■ 改築
 ■ 長寿命化改修
 ■ 大規模改修
 ■ 部位修繕
 ■ 廃止（休校）

施設名	棟名	棟面積㎡	建築年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
				2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
認定こども園たのの	園舎	644	2015	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定こども園たのの	プール	50	2015	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4
仁井田小学校	校舎（管理教室棟）	909	1987	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
仁井田小学校	校舎（特別教室棟）	499	1988																				
仁井田小学校	屋内運動場	650	1999																				
仁井田小学校	プール	325	1980																				
仁井田小学校	プール付属室	44	1981																				
影野小学校	校舎（管理教室棟）	1,469	1990																				
影野小学校	屋内運動場	660	1999																				
影野小学校	プール	325	1981																				
影野小学校	プール付属室	48	1981																				
影野小学校	ポンプ室	6	1991																				
影野小学校	倉庫（2）	54	1976																				
七里小学校	校舎管理教室棟（1・2）	1,280	1996																				
七里小学校	屋内運動場	400	1978																				
七里小学校	プール	325	1994																				
七里小学校	プール付属室	48	1994																				
米奥小学校	校舎 管理教室棟（1・2）	1,280	1993																				
米奥小学校	屋内運動場	405	1984																				
米奥小学校	プール	325	2002																				
米奥小学校	プール付属室	48	1998																				
窪川小学校	校舎（普通・特別）	3,586	1978																				
窪川小学校	校舎（特別教室棟）	73	2002																				
窪川小学校	屋内運動場	726	1979																				
窪川小学校	プール	325	1970																				
窪川小学校	プール付属室	52	1970																				
窪川小学校	体育倉庫	34	1994																				
若井川小学校（休校）	校舎（管理教室棟）、給食棟	782	1978																				
若井川小学校（休校）	屋内運動場	405	1980																				
若井川小学校（休校）	便所棟	28	1978																				
若井川小学校（休校）	倉庫	17	1992																				
口神ノ川小学校（休校）	校舎（管理教室棟）	895	1978																				
口神ノ川小学校（休校）	屋内運動場	405	1983																				
口神ノ川小学校（休校）	プール	325	1999																				
口神ノ川小学校（休校）	プール付属室	48	1999																				
口神ノ川小学校（休校）	体育施設棟	27	1979																				
川口小学校	校舎（管理教室棟・特別教室棟）	1,212	1977																				
川口小学校	屋内運動場	448	1979																				
川口小学校	プール	325	1996																				
川口小学校	プール付属室	49	1996																				
川口小学校	倉庫	18	2001																				
川口小学校	体育倉庫	32	2002																				
東又小学校	校舎	1,655	1985																				
東又小学校	屋内運動場	520	1994																				
東又小学校	プール	178	2017																				
東又小学校	プール付属室	85	2018																				

施設名	棟名	棟面積㎡	建築年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
				2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
興津小学校	校舎（管理教室棟・特別教室棟）	1,423	1965																				
興津小学校	屋内運動場	544	1981																				
興津小学校	プール	325	1988																				
興津小学校	プール付属室	64	1988																				
興津小学校	倉庫	22	1987																				
興津小学校	体育器具庫	35	2011																				
田野々小学校	校舎	1,868	1986																				
田野々小学校	屋内運動場	1,004	1987																				
田野々小学校	プール	325	1986																				
田野々小学校	プール付属室	81	1986																				
大奈路小学校（休校）	校舎（特別教室棟）	397	1987																				
大奈路小学校（休校）	校舎（管理教室棟）保健室	560	1991																				
大奈路小学校（休校）	屋内運動場	607	1971																				
大奈路小学校（休校）	プール	325	1979																				
北ノ川小学校	校舎	969	1966																				
北ノ川小学校	プール	325	1974																				
北ノ川小学校	プール付属室	22	1974																				
十川小学校	校舎1	1,173	1968																				
十川小学校	校舎2	126	1991																				
十川小学校	特別教室	378	2003																				
十川小学校	屋内運動場	573	1976																				
十川小学校	プール	325	1991																				
十川小学校	プールポンプ室等機械室	56	1992																				
昭和小学校	校舎（管理教室棟）配膳室	1,036	1973																				
昭和小学校	校舎（教室棟）	1,186	1973																				
昭和小学校	屋内運動場	1,379	1998																				
昭和小学校	プール	325	1975																				
昭和小学校	プール付属室	66	1975																				
窪川中学校	校舎（普通教室棟）	6,025	1972																				
窪川中学校	校舎（技術科室棟）	251	2010																				
窪川中学校	屋内運動場	1,120	1975																				
窪川中学校	機械室	42	1972																				
窪川中学校	プール	325	1982																				
窪川中学校	プール付属室	86	1982																				
窪川中学校	部室 倉庫	66	2002																				
窪川中学校	エレベーター	36	2008																				
興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（管理教室棟）	1,342	1972																				
興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（特別教室棟）	60	1979																				
興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（特別教室棟）	180	1989																				
大正中学校	校舎	1,965	2011																				
大正中学校	校舎（技術棟）	265	1999																				
大正中学校	校舎（特別教室）	265	1998																				
大正中学校	プール	325	2012																				
大正中学校	プール付属室A	65	2012																				
大正中学校	プール付属室B	26	2012																				
大正中学校	プール機械室	18	2012																				
北ノ川中学校	校舎	999	1993																				
北ノ川中学校	屋内運動場	607	1972																				
北ノ川中学校	便所棟	31	1981																				
十川中学校	校舎	1,168	1965																				
十川中学校	校舎（特別教室棟）	564	1983																				
十川中学校	屋内運動場	629	1976																				
昭和中学校（休校）	校舎（管理教室棟）	1,669	1978																				
昭和中学校（休校）	校舎（技術棟）	160	1979																				
昭和中学校（休校）	便所棟	4	1992																				
窪川学校給食センター	共同調理場	1,453	2008																				
大正学校給食センター	共同調理場	357	1997																				
十和学校給食センター	共同調理場	494	2005																				

(第3・4期計画20年間)

改築
 長寿命化改修
 大規模改造
 部位修繕
 廃止(休校)

施設名	棟名	棟面積㎡	建築年度	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41	R42
				2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
認定こども園たのの	園舎	644	2015																				
認定こども園たのの	プール	50	2015																				
仁井田小学校	校舎(管理教室棟)	909	1987																				
仁井田小学校	校舎(特別教室棟)	499	1988																				
仁井田小学校	屋内運動場	650	1999																				
仁井田小学校	プール	325	1980																				
仁井田小学校	プール付属室	44	1981																				
影野小学校	校舎(管理教室棟)	1,469	1990																				
影野小学校	屋内運動場	660	1999																				
影野小学校	プール	325	1981																				
影野小学校	プール付属室	48	1981																				
影野小学校	ポンプ室	6	1991																				
影野小学校	倉庫(2)	54	1976																				
七里小学校	校舎管理教室棟(1・2)	1,280	1996																				
七里小学校	屋内運動場	400	1978																				
七里小学校	プール	325	1994																				
七里小学校	プール付属室	48	1994																				
米奥小学校	校舎管理教室棟(1・2)	1,280	1993																				
米奥小学校	屋内運動場	405	1984																				
米奥小学校	プール	325	2002																				
米奥小学校	プール付属室	48	1998																				
窪川小学校	校舎(普通・特別)	3,586	1978																				
窪川小学校	校舎(特別教室棟)	73	2002																				
窪川小学校	屋内運動場	726	1979																				
窪川小学校	プール	325	1970																				
窪川小学校	プール付属室	52	1970																				
窪川小学校	体育倉庫	34	1994																				
若井川小学校(休校)	校舎(管理教室棟)、給食棟	782	1978																				
若井川小学校(休校)	屋内運動場	405	1980																				
若井川小学校(休校)	便所棟	28	1978																				
若井川小学校(休校)	倉庫	17	1992																				
口神ノ川小学校(休校)	校舎(管理教室棟)	895	1978																				
口神ノ川小学校(休校)	屋内運動場	405	1983																				
口神ノ川小学校(休校)	プール	325	1999																				
口神ノ川小学校(休校)	プール付属室	48	1999																				
口神ノ川小学校(休校)	体育施設棟	27	1979																				
川口小学校	校舎(管理教室棟・特別教室棟)	1,212	1977																				
川口小学校	屋内運動場	448	1979																				
川口小学校	プール	325	1996																				
川口小学校	プール付属室	49	1996																				
川口小学校	倉庫	18	2001																				
川口小学校	体育倉庫	32	2002																				
東又小学校	校舎	1,655	1985																				
東又小学校	屋内運動場	520	1994																				
東又小学校	プール	178	2017																				
東又小学校	プール付属室	85	2018																				

施設名	棟名	棟面積㎡	建築年度	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41	R42
				2 0 4 1	2 0 4 2	2 0 4 3	2 0 4 4	2 0 4 5	2 0 4 6	2 0 4 7	2 0 4 8	2 0 4 9	2 0 5 0	2 0 5 1	2 0 5 2	2 0 5 3	2 0 5 4	2 0 5 5	2 0 5 6	2 0 5 7	2 0 5 8	2 0 5 9	2 0 6 0
興津小学校	校舎（普通教室棟・特別教室棟）	1,423	1965																				
興津小学校	屋内運動場	544	1981																				
興津小学校	プール	325	1988																				
興津小学校	プール付属室	64	1988																				
興津小学校	倉庫	22	1987																				
興津小学校	体育器具庫	35	2011																				
田野々小学校	校舎	1,868	1986																				
田野々小学校	屋内運動場	1,004	1987																				
田野々小学校	プール	325	1986																				
田野々小学校	プール付属室	81	1986																				
大奈路小学校（休校）	校舎（特別教室棟）	397	1987																				
大奈路小学校（休校）	校舎（管理教室棟）保健室	560	1991																				
大奈路小学校（休校）	屋内運動場	607	1971																				
大奈路小学校（休校）	プール	325	1979																				
北ノ川小学校	校舎	969	1966																				
北ノ川小学校	プール	325	1974																				
北ノ川小学校	プール付属室	22	1974																				
十川小学校	校舎1	1,173	1968																				
十川小学校	校舎2	126	1991																				
十川小学校	特別教室	378	2003																				
十川小学校	屋内運動場	573	1976																				
十川小学校	プール	325	1991																				
十川小学校	プールポンプ室等機械室	56	1992																				
昭和小学校	校舎（管理教室棟）配膳室	1,036	1973																				
昭和小学校	校舎（教室棟）	1,186	1973																				
昭和小学校	屋内運動場	1,379	1998																				
昭和小学校	プール	325	1975																				
昭和小学校	プール付属室	66	1975																				
窪川中学校	校舎（普通教室棟）	6,025	1972																				
窪川中学校	校舎（技術科室棟）	251	2010																				
窪川中学校	屋内運動場	1,120	1975																				
窪川中学校	機械室	42	1972																				
窪川中学校	プール	325	1982																				
窪川中学校	プール付属室	86	1982																				
窪川中学校	部室 倉庫	66	2002																				
窪川中学校	エレベーター	36	2008																				
興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（管理教室棟）	1,342	1972																				
興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（特別教室棟）	60	1979																				
興津中学校（R3.4休校予定）	校舎（特別教室棟）	180	1989																				
大正中学校	校舎	1,965	2011																				
大正中学校	校舎（技術棟）	265	1999																				
大正中学校	校舎（特別教室）	265	1998																				
大正中学校	プール	325	2012																				
大正中学校	プール付属室A	65	2012																				
大正中学校	プール付属室B	26	2012																				
大正中学校	プール機械室	18	2012																				
北ノ川中学校	校舎	999	1993																				
北ノ川中学校	屋内運動場	607	1972																				
北ノ川中学校	便所棟	31	1981																				
十川中学校	校舎	1,168	1965																				
十川中学校	校舎（特別教室棟）	564	1983																				
十川中学校	屋内運動場	629	1976																				
昭和中学校（休校）	校舎（管理教室棟）	1,669	1978																				
昭和中学校（休校）	校舎（技術棟）	160	1979																				
昭和中学校（休校）	便所棟	4	1992																				
窪川学校給食センター	共同調理場	1,453	2008																				
大正学校給食センター	共同調理場	357	1997																				
十和学校給食センター	共同調理場	494	2005																				

※資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月）」付属プログラムを利用して、管理区分による集約棟を対象に試算した結果を図化

6-3 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

長寿命化のコストの計算条件を以下のとおりとします。

従来型の維持・更新コストの計算条件（保有施設を全て維持する場合）

建替え(改築)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 築後 50 年で同規模建替え（改築）、建替え（改築）工事期間は 2 年 ・ 建替え（改築）時期を既に経過している場合は 10 年間で実施 ・ 建替え（改築）単価：公共施設等総合管理計画の建物分類別単価を採用 <small>※「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書」（平成 23 年 3 月）における建物分類別の更新（建替え（改築））単価を採用</small>
大規模改造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20 年周期、工事期間は 1 年 ・ 大規模改造単価は建替え（改築）単価の 25%（付属プログラム仕様による固定値）
施設関連経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2.2 億円/年を毎年計上 <small>※直近 5 年間（H27～R1 年度）の施設関連経費（普通建設事業費、維持補修費、物件費）の平均</small>

長寿命化型の維持・更新コストの計算条件

建替え(改築)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長寿命化対象（築後 80 年で同規模建替え（改築）、建替え（改築）工事期間は 2 年） ・ 長寿命化対象外（築後 50 年で同規模建替え（改築）、建替え（改築）工事期間は 2 年） なお、建替え（改築）時期を既に経過している場合は 10 年間で実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 建替え（改築）単価：公共施設等総合管理計画の建物分類別単価を採用 <small>※「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書」（平成 23 年 3 月）における建物分類別の更新（建替え（改築））単価を採用</small>
大規模改造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長寿命化対象（築後 20 年、60 年又は予定年度、工事期間は 1 年） ・ 長寿命化対象外（築後 20 年、工事期間は 1 年） ・ 大規模改造単価：建替え（改築）単価の 25%（付属プログラム仕様固定値）
長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長寿命化対象（築後 40 年又は予定年度、工事期間は 2 年又は 1 年） ・ 長寿命化改修単価：建替え（改築）単価の 60%（付属プログラム初期値） なお、長寿命化改修時期を既に経過している場合は 10 年間で実施
施設関連経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2.2 億円/年を毎年計上 <small>※直近 5 年間（H27～R1 年度）の施設関連経費（普通建設事業費、維持補修費、物件費）の平均</small>
部位修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部位修繕は劣化状況評価が「C 又は D」の建築物が対象 ・ 部位劣化状況評価「C」の場合、10 年間（均等割）で計上 ただし、建替え（改築）、長寿命化改修、大規模改造を今後 10 年以内に実施する場合、費用計上しない ・ 部位劣化状況評価「D」の場合、5 年間（均等割） ただし、建替え（改築）、長寿命化改修、大規模改造を今後 5 年以内に実施する場合は費用計上しない ・ 部位劣化状況評価「A」の場合、今後 10 年以内に予定する長寿命化改修費用から、該当部位の修繕費を控除

部位別修繕費（㎡あたり）

部位	校舎	体育館
屋根・屋上	改築単価の 3.5%	改築単価の 3.0%
外壁	改築単価の 5.1%	改築単価の 3.5%
内部仕上げ	改築単価の 5.6%	改築単価の 5.6%
電気設備	改築単価の 4.0%	改築単価の 4.8%
機械設備	改築単価の 3.7%	改築単価の 1.7%

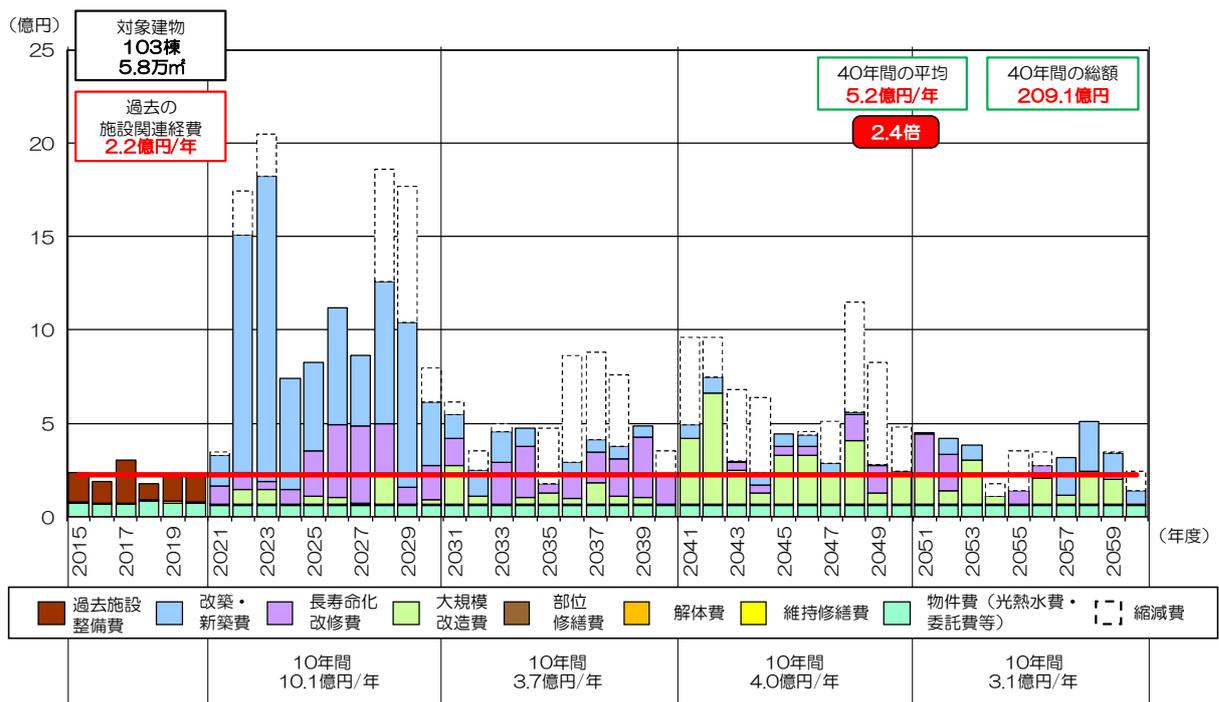
注：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成 29 年 3 月）付属プログラムによる計算結果から部位別修繕単価（改築単価に対する比率）を整理したもの

(1) 今後の維持・更新コスト

① 長寿命化型

従来型の建替え主体から適正な予防保全を実施することにより、建築物の長寿命化を進めることとし、建築物の建替え（更新）時期を、目標耐用年数の 80 年にした場合、令和 3（2021）年度から令和 42（2060）年度までの 40 年間で必要となる維持・更新費用は約 209.1 億円となります。年平均では約 5.2 億円となり、直近 5 年間の施設関連経費の平均値（2.2 億円）の約 2.4 倍となります。

維持・更新コスト（長寿命化型）

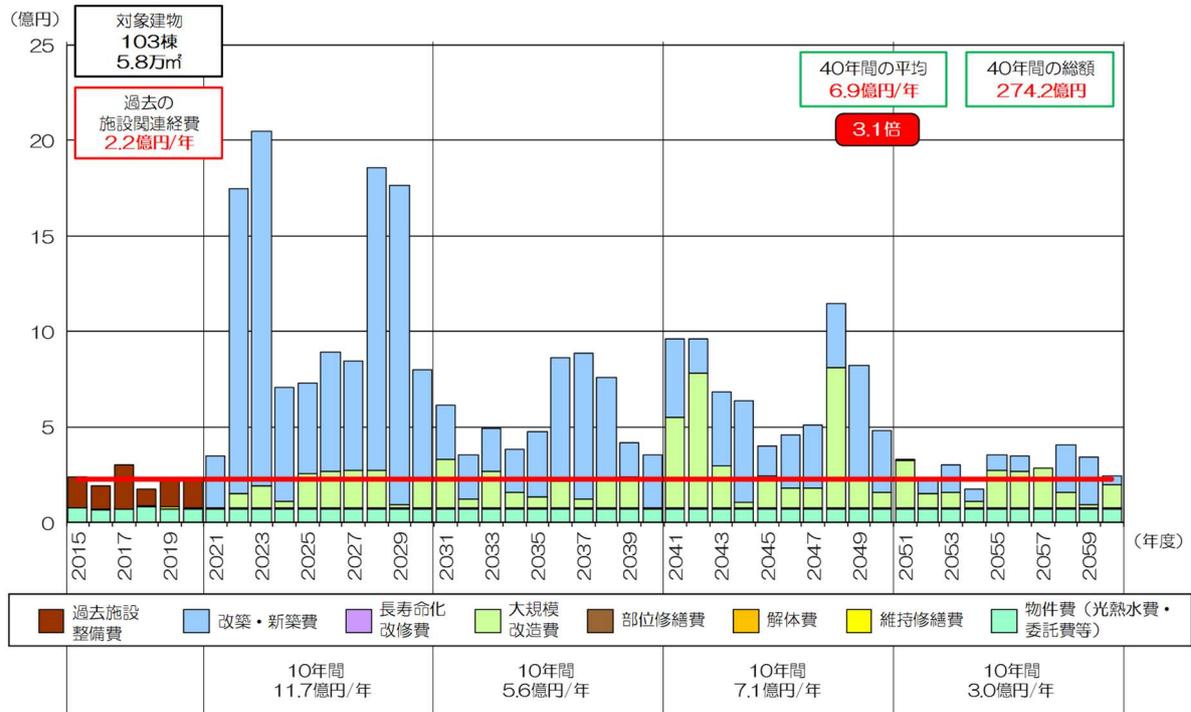


資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月）」
 付属プログラムを利用して、管理区分による集約棟を対象に試算

② 従来型（再掲）

令和3（2021）年度から令和42（2060）年度までの40年間で必要な維持・更新費用は約274.2億円となります。年平均は約6.9億円で、前述の直近5年間の施設関連経費の平均値2.2億円の3.1倍となります。

維持・更新コスト（従来型）



資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月）
 付属プログラムを利用して、管理区分による集約棟を対象に試算

(2) 効果の見通し

従来型の建替え主体から適正な予防保全を実施することにより、建築物の長寿命化を進めることとし、建築物の建替え（更新）時期を、目標耐用年数の 80 年にした場合、令和 3（2021）年度から令和 41（2060）年度までの 40 年間で必要となる維持・更新費用は約 209.1 億円となります。

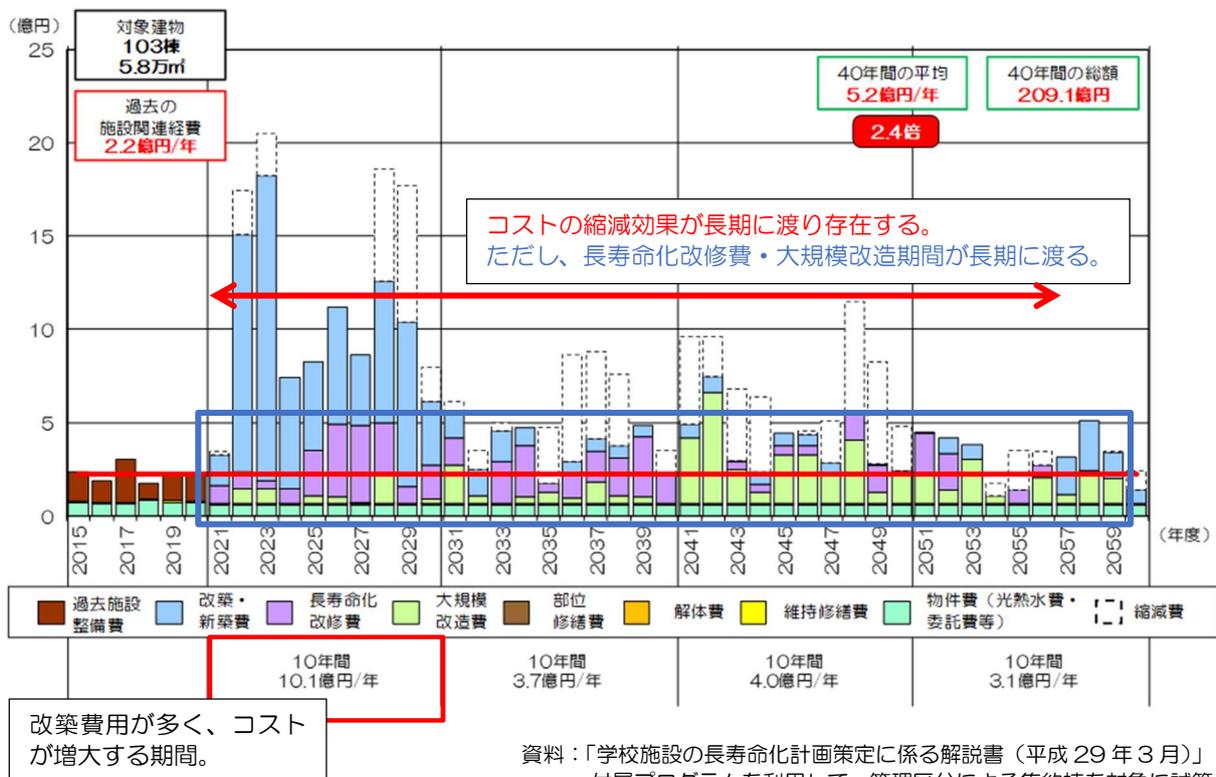
これは、従来型（約 274.2 億円）と比べて、約 65.1 億円の維持・更新コストが減少します。年平均でみると約 1.6 億円のコスト縮減になる見込みです。

なお、長寿命化型の維持・更新コスト計算では、年平均で約 5.2 億円となり、直近 5 年間の施設関連経費の平均値（2.2 億円）の約 2.4 倍になります。

今後の学校施設の維持・更新コストは、学校施設規模を現状維持し、長寿命化改修への転換を図る場合は、従来型よりはコストが縮減しますが、直近 5 年間の平均値（2.2 億円）の現状よりはコスト拡大する見込みです。事業費が大きな学校施設の整備は、町の財政に相当の負担となります。

学校施設の再編と長寿命化は、早急な対応が不可欠であり、財政計画への反映が待たれます。また、今後の学校施設等の保全にあたっては、維持・更新コストの縮減を図る一方で、活用面などについても検討し、学校施設保有施設面積の縮減を図るための見通しと効果を整理する必要があります。

維持・更新コスト（長寿命化型） 再掲



第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

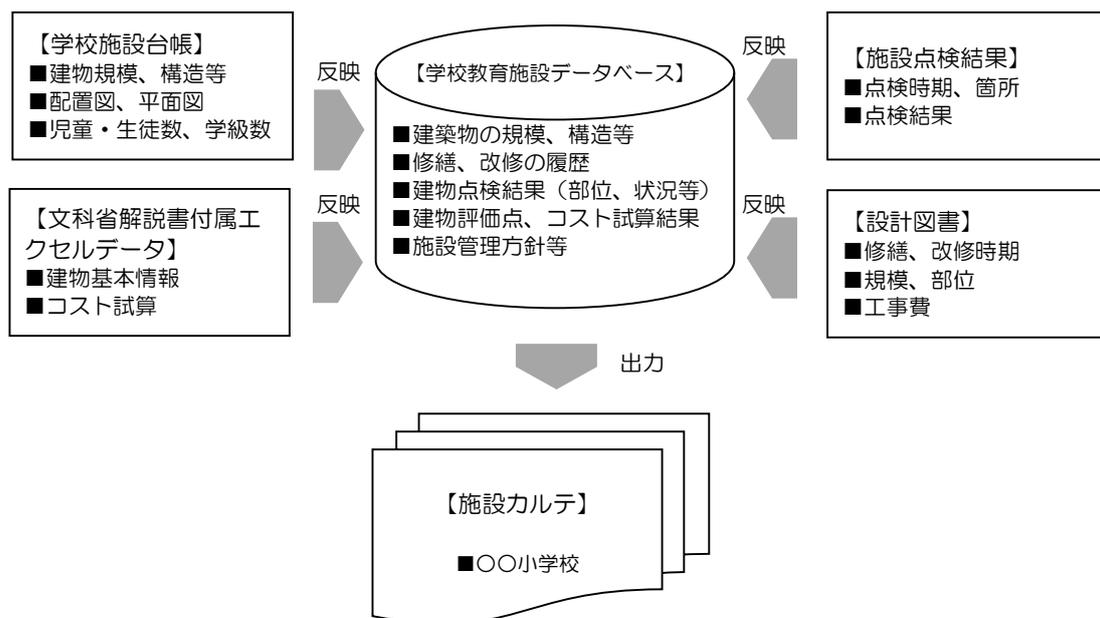
7-1 情報基盤の整備と活用

長寿命化改修実施計画を見直し適切に更新するために、学校施設および社会教育施設における過去の改修・修繕履歴や各施設の状態を把握することが重要となります。

情報等の整備は、検討に使用した文科省による学校長寿命化計画策定に係るエクセルソフトについて、過去の改修・交換履歴、故障の発生状況等をデータベースとして保管・蓄積することとします。

上位計画である四万十町公共施設等総合管理計画との連携を図りながら、施設の維持管理経費等に関する情報も含めて、全庁的に一元管理し、効率的な施設管理を進めていきます。

学校教育施設情報管理のイメージ

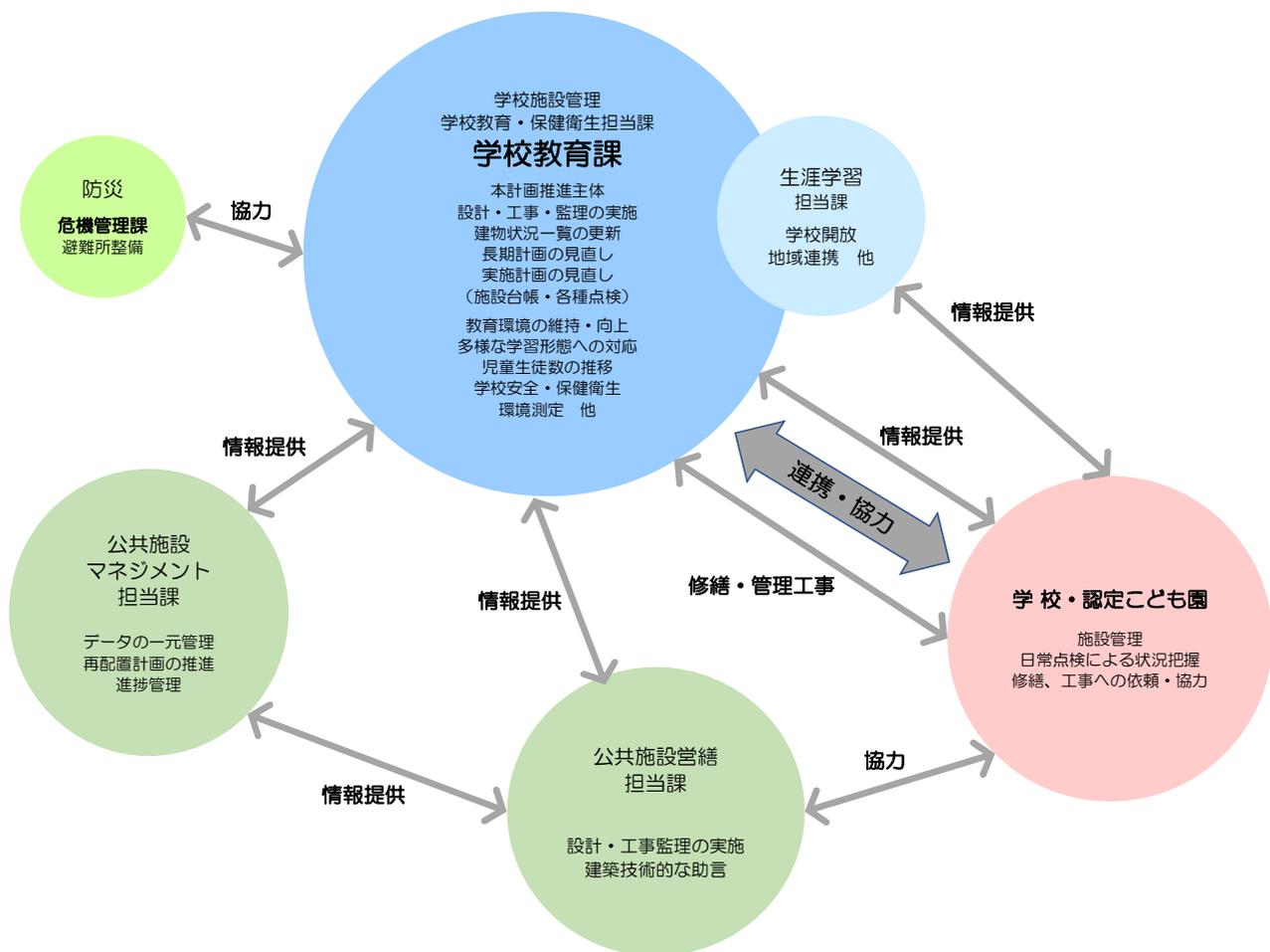


7-2 推進体制等の整備

学校教育施設の整備については、教育委員会、学校、総務課、各地域振興局が関係することとなります。このため、これら関係課とは、管理、点検結果の情報共有や工事・修繕等の実施時期、費用の調達等について密に調整・連携を図りながら、学校教育施設の長寿命化に向けて取組みます。

公共施設等の保有量の縮減に向けた施設の複合化、転用等の全庁的な再編については、多くの施設所管課との調整・連携が必要となることから、連絡会や調整会の実施について検討します。また、地域コミュニティの核としての新たな学校施設の在り方については、地域住民、関係団体との意見交換を行うなど、必要な機能や役割について検討します。

推進体制のイメージ



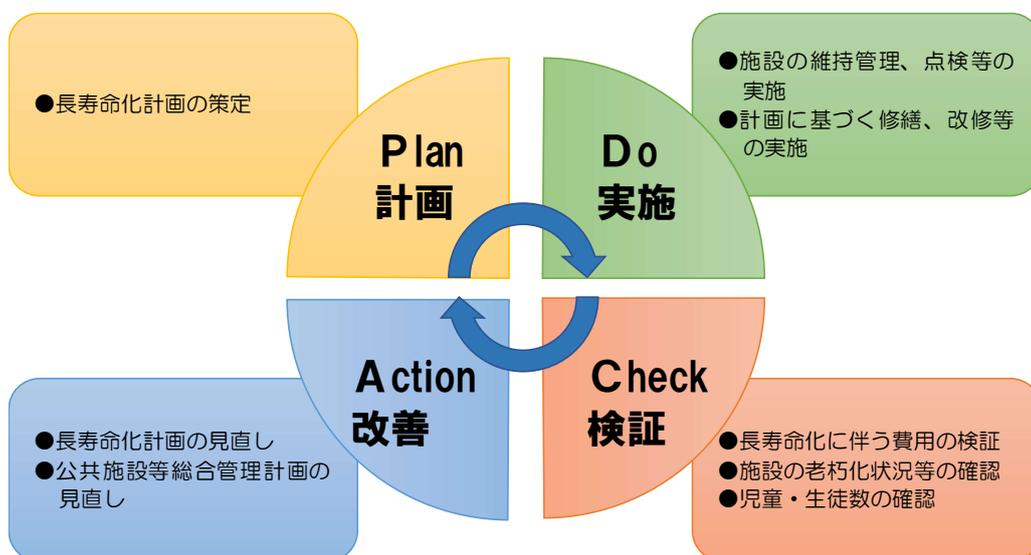
7-3 フォローアップ

本計画は、約 40 年間の長期を見据えた施設整備の計画であることから、計画の進行管理に向けてPDCAサイクルを実行することが重要となります。

今後は、PDCAサイクルを概ね 10 年単位を基本とし、修繕・更新等に要した工事費、工事実施周期等について検証を行い、計画との差異が大きい場合には、本計画の見直しを行います。

また、上位計画の公共施設等総合管理計画の見直しや、児童・生徒数の変化や施設の老朽化の変化、本町の公共施設全般における削減目標・再編方針等が大きく変わった場合等は、本計画の見直しを行います。

PDCAサイクル



以上



発行・編集 四万十町
〒786-8501 高知県高岡郡四万十町琴平町 16-17
TEL : 0880-22-3111 FAX : 0880-22-3123